

財 務 諸 表 等

平成28年度

(第 6 期 事 業 年 度)

自 平成28年4月 1 日

至 平成29年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

財 務 諸 表

貸借対照表
(平成29年3月31日現在)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	1,782,690,000	
建物	10,681,938,000	
建物減価償却累計額	3,299,117,002	7,382,820,998
構築物	251,955,288	
構築物減価償却累計額	111,261,836	140,693,452
器械備品	5,903,018,372	
器械備品減価償却累計額	3,853,569,757	2,049,448,615
車両	5,099,335	
車両減価償却累計額	3,607,688	1,491,647
建設仮勘定		350,850,825
その他有形固定資産		3,850,000
有形固定資産合計		11,711,845,537
2 無形固定資産		
ソフトウェア	317,769,660	
電話加入権	1,176,900	
その他無形固定資産	2,078,417	
無形固定資産合計		321,024,977
3 投資その他の資産		
投資有価証券	99,990,666	
長期前払消費税	267,726,522	
投資その他資産	11,760	
投資その他の資産合計		367,728,948
固定資産合計		12,400,599,462
II 流 動 資 産		
現金及び預金	2,084,045,655	
医業未収金	1,860,436,857	
貸倒引当金	△ 29,906,958	1,830,529,899
未収金	43,385,578	
貸倒引当金	△ 3,711,754	39,673,824
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	84,601,694	
診療材料	49,677,489	
その他貯蔵品	3,240,887	137,520,070
その他流動資産		83,581,407
流動資産合計		4,175,350,855
資産合計		16,575,950,317

貸借対照表
(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
負 債 の 部		
I 固 定 負 債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	154,122,113	
資産見返寄附金	5,367,810	
資産見返物品受贈額	26,870,966	186,360,889
長期寄附金債務		
長期借入金		3,371,227,542
移行前地方債償還債務		4,137,313,122
引当金		
退職給付引当金	5,010,234,279	5,010,234,279
長期リース債務		118,254,342
固定負債合計		12,823,390,174
II 流 動 負 債		
運営費負担金債務		77,275,000
寄附金債務		10,015,111
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		612,996,426
1年以内返済予定長期借入金		587,522,945
医業未払金		1,033,990,296
未払金		822,734,057
1年以内支払予定リース債務		78,719,832
未払消費税等		707,100
前受金		142,583,993
預り金		75,932,343
引当金		
賞与引当金	413,202,463	
流動負債合計		3,855,679,566
負債合計		16,679,069,740
純 資 産 の 部		
I 資本金		
設立団体出資金	174,353,108	
資本金合計		174,353,108
II 繰越欠損金		
積立金	23,249,626	
当期末処理損失	△ 300,722,157	
(うち当期総損失)	(△ 300,722,157)	
繰越欠損金合計		△ 277,472,531
純資産合計		△ 103,119,423
負債純資産合計		16,575,950,317

損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		
医業収益		
入院収益	7,495,024,985	
外来収益	3,979,161,602	
その他医業収益	306,680,587	11,780,867,174
運営費負担金収益		3,099,646,311
補助金等収益		20,326,049
寄附金収益		734,741
資産見返運営費負担金戻入		783,986,000
資産見返補助金等戻入		37,851,538
資産見返寄附金戻入		548,772
資産見返物品受贈額戻入		8,317,174
その他営業収益		80,000
営業収益合計		15,732,357,759
営 業 費 用		
医業費用		
給与費	7,775,562,635	
材料費	3,693,735,199	
経費	2,355,897,552	
減価償却費	1,335,478,492	
研究研修費	150,637,972	15,311,311,850
一般管理費		
給与費	151,767,464	
経費	14,511,611	
減価償却費	7,028,579	173,307,654
取得財産に係る控除対象外消費税償却		53,173,626
控除対象外消費税(消費税損失)		475,497,012
営業費用合計		16,013,290,142
営業損失		△ 280,932,383
営 業 外 収 益		
運営費負担金収益		116,187,000
寄附金収益		2,569,744
財務収益		467,495
その他営業外収益		82,031,043
営業外収益合計		201,255,282
営 業 外 費 用		
財務費用		170,154,022
その他営業外費用		52,563,073
営業外費用合計		222,717,095
経常損失		△ 302,394,196
臨 時 利 益		
貸倒引当金戻入益		5,706,358
臨時利益合計		5,706,358
臨 時 損 失		
固定資産除却損		42,067
その他臨時損失		3,992,252
臨時損失合計		4,034,319
当期純損失		△ 300,722,157
目的積立金取崩額		0
当期総損失		△ 300,722,157

キャッシュ・フロー計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
医療材料の購入による支出	△ 4,135,569,792
人件費支出	△ 8,040,921,310
その他業務支出	△ 2,571,072,696
医業収入	12,039,732,767
運営費負担金収入	3,251,478,311
補助金等収入	19,202,000
寄附金収入	650,000
その他業務収入	116,817,951
小計	680,317,231
利息受取額	463,495
利息支払額	△ 170,154,022
業務活動によるキャッシュ・フロー	510,626,704
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	11,400,000,000
定期預金の預入による支出	△ 10,900,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 434,025,746
運営費負担金収入	783,986,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	849,960,254
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金による収入	1,000,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 1,000,000,000
長期借入金による収入	1,147,700,000
長期借入金の返済による支出	△ 568,875,505
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 604,151,037
リース債務の返済による支出	△ 117,539,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 142,865,783
IV 資金増加額(又は減少額)	1,217,721,175
V 資金期首残高	866,324,480
VI 資金期末残高	2,084,045,655

損失の処理に関する書類
(平成29年8月30日)

【地方独立行政法人 宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
I 当期末処理損失	△ 300,722,157	
当期総損失	△ 300,722,157	
II 損失処理額		
積立金取崩額	23,249,626	23,249,626
次期繰越欠損金	<u>△ 277,472,531</u>	<u>△ 277,472,531</u>

行政サービス実施コスト計算書
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
医業費用	15,311,311,850		
一般管理費	173,307,654		
取得財産に係る控除対象外消費税償却	53,173,626		
控除対象外消費税(消費税損失)	475,497,012		
営業外費用	222,717,095		
臨時損失	4,034,319	16,240,041,556	
(2) (控除) 自己収入等			
医業収益	△ 11,754,602,174		
寄付金収益	△ 3,304,485		
臨時利益	△ 5,706,358		
その他収益	△ 83,127,310	△ 11,846,740,327	
業務費用合計			4,393,301,229
(うち減価償却費充当補助金相当額)			(830,154,712)
II 引当外退職給付増加見積額	11,539,500		11,539,500
III 機会費用			
地方公共団体出資等の機会費用	113,329		
無利子又は通常より有利な条件 による融資取引の機会費用	12,750,000		12,863,329
IV 行政サービス実施コスト			4,417,704,058

注 記 事 項

I 重要な会計方針

- 1 運営費負担金収益の計上基準
期間進行基準を採用しております。
ただし、移行前地方債利息等については費用進行基準を採用しております。
- 2 減価償却の会計処理方法
 - (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	4年～39年
構築物	3年～37年
機器備品	2年～21年
車両	2年～6年
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間に基づいて償却しております。
- 3 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準
役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における役職員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。
過去勤務債務は、その発生時における職員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)により按分した額を費用処理しております。
なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しております。
- 4 貸倒引当金の計上基準
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- 5 賞与引当金の計上基準
役職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
- 6 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的債券については、償却原価法(定額法)を採用しております。
- 7 たな卸資産の評価基準及び評価方法
医薬品、診療材料及び貯蔵品とも、最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
- 8 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
 - (1) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の平成29年3月末における利回りを参考に0.065%で計算しております。
 - (2) 政府又は地方公共団体の無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率
宮城県からの無利子の短期借入金については、市中金融機関からの借入利息1.275%にて計算しております。

9 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

10 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II 金融商品関係の時価等に関する事項

1 金融商品関係の状況に関する事項

当法人の資金運用は、預金並びに国債、地方債、政府保証債等に限定し、資金調達については設立団体からの借入により資金を調達しております。

未収債権等に係る回収リスクは、未収金取扱要領に沿ってリスク低減を図っておりま
借入金等の使途は運転資金（主として短期借入金）及び事業投資資金（長期）であ
り、設立団体の長により認可された資金計画に従って、資金調達を行っております。

2 金融商品関係の時価に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：円)

区 分	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 投資有価証券	99,990,666	100,390,000	399,334
(2) 現金及び預金	2,084,045,655	2,084,045,655	—
(3) 未 収 金	1,903,822,435	1,903,822,435	—
(4) 長 期 借 入 金	(3,958,750,487)	(4,093,144,090)	(134,393,603)
(5) 移行前地方債 償 還 債 務	(4,750,309,548)	(5,336,257,998)	(585,948,450)
(6) 未 払 金	(1,856,724,353)	(1,856,724,353)	—
(7) リ ー ス 債 務	(196,974,174)	(196,946,375)	(△ 27,799)

(注1) 負債で計上されているものは()で表示しております。

(注2) 金融商品の時価の算出方法

- ・ (1)投資有価証券
取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。
- ・ (2)現金及び預金、(3)未収金、(6)未払金
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
- ・ (4)長期借入金、(5)移行前地方債償還債務、(7)リース債務
これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっております。
なお、長期借入金及び移行前地方債償還債務には、1年以内返済予定の金額を、リース債務には、1年以内支払予定の金額を含めて記載しております。
また、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

Ⅲ キャッシュ・フロー計算書関係

- 1 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 2,084,045,655 円
現金及び預金勘定のうち定期預金 0 円
資金期末残高 2,084,045,655 円

- 2 重要な非資金取引
ファイナンス・リースによる資産の取得 54,824,040 円

Ⅳ オペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

Ⅴ 固定資産の減損関係

- 1 固定資産のグルーピングの方法
当法人においては、継続的に収支の把握を行っている各病院単位を1つの資産グループとして取り扱っております。

- 2 共用資産の取扱い

- (1) 共用資産の概要 (単位：円)

名 称	場 所	固定資産額
法人本部	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1	107,917,862

- (2) 共用資産の取扱いの方法

共用資産に係る減損の兆候の把握等は、3病院に法人本部を加えた機構全体で行います。

- 3 減損の兆候が認められた固定資産
該当事項はありません。

Ⅵ 退職給付関係

- 1 退職給付債務に関する事項
退職給付債務(A) 4,945,617,651 円
未認識数理計算上の差異(B) 94,943,408 円
未認識過去勤務債務(C) △ 30,326,780 円
退職給付引当金(D)=(A)+(B)+(C) 5,010,234,279 円

- 2 退職給付費用に関する事項
勤務費用 333,045,211 円
利息費用 37,524,483 円
数理計算上の差異の費用処理額 △ 16,879,128 円
過去勤務債務の費用処理額 7,581,692 円
退職給付費用 361,272,258 円

- 3 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項
割引率 0.80%
退職給付見込額の期間配分方法 期間定額基準
数理計算上の差異の処理年数 10年
過去勤務債務の処理年数 10年

Ⅶ 賃貸等不動産関係

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

Ⅷ 資産除去債務

該当事項はありません。

Ⅸ 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払いが発生する重要なものは、以下のとおりです。

(単位：円)

契 約 内 容	病 院 名	契 約 金 額	翌事業年度以降の支払金額
庁舎管理業務(H28～H30)	循環器・呼吸器病センター	222,121,440	148,080,960
医事業務(H28～H30)	循環器・呼吸器病センター	123,444,000	82,296,000
機械設備等保守運転業務(H29～H31)	精神医療センター	107,723,520	107,723,520
E S C O事業(H20～H29)	がんセンター	529,540,000	59,760,000
建物総合管理業務(H28～H30)	がんセンター	563,760,000	375,840,000
医事業務(H28～H30)	がんセンター	295,799,040	197,199,360
画像診断装置保守点検業務(H28～H30)	がんセンター	136,080,000	90,720,000
物品・薬品管理業務(H29～H31)	がんセンター	138,684,960	138,684,960
中央材料室滅菌業務(H29～H31)	がんセンター	142,203,600	142,203,600

Ⅹ 重要な後発事象

該当事項はありません。

財 務 諸 表

(附属明細書)

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額	当期償却額	差引当期末残高	摘要
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	10,317,383,000	364,555,000	0	10,681,938,000	3,299,117,002	504,921,066	7,382,820,998	
	構築物	251,955,288	0	0	251,955,288	111,261,836	14,814,946	140,693,452	
	器械備品	5,309,668,359	802,949,428	209,599,415	5,903,018,372	3,853,569,757	693,680,327	2,049,448,615	
	車両	4,358,597	740,740	2	5,099,335	3,607,688	467,026	1,491,647	
	計	15,883,365,244	1,168,245,168	209,599,417	16,842,010,995	7,267,556,283	1,213,883,365	9,574,454,712	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物								
	構築物								
	計								
非償却資産	土地	1,782,690,000	0	0	1,782,690,000			1,782,690,000	
	建設仮勘定	353,550,825	0	2,700,000	350,850,825			350,850,825	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	0	3,850,000			3,850,000	
	計	2,140,090,825	0	2,700,000	2,137,390,825			2,137,390,825	
有形固定資産 合計	土地	1,782,690,000	0	0	1,782,690,000			1,782,690,000	
	建物	10,317,383,000	364,555,000	0	10,681,938,000	3,299,117,002	504,921,066	7,382,820,998	
	構築物	251,955,288	0	0	251,955,288	111,261,836	14,814,946	140,693,452	
	器械備品	5,309,668,359	802,949,428	209,599,415	5,903,018,372	3,853,569,757	693,680,327	2,049,448,615	(注1)
	車両	4,358,597	740,740	2	5,099,335	3,607,688	467,026	1,491,647	
	建設仮勘定	353,550,825	0	2,700,000	350,850,825			350,850,825	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	0	3,850,000			3,850,000	
	計	18,023,456,069	1,168,245,168	212,299,417	18,979,401,820	7,267,556,283	1,213,883,365	11,711,845,537	
無形固定資産	ソフトウェア	813,982,750	0	0	813,982,750	496,213,090	127,901,832	317,769,660	
	電話加入権	1,176,900	0	0	1,176,900			1,176,900	
	その他無形固定資産	6,747,290	0	0	6,747,290	4,668,873	721,874	2,078,417	
	計	821,906,940	0	0	821,906,940	500,881,963	128,623,706	321,024,977	
投資その他 の資産	投資有価証券	99,986,666	4,000	0	99,990,666	0	0	99,990,666	
	長期前払消費税	456,236,223	89,732,198	0	545,968,421	278,241,899	53,173,626	267,726,522	
	その他投資資産	11,760	0	0	11,760			11,760	
	計	556,234,649	89,736,198	0	645,970,847	278,241,899	53,173,626	367,728,948	

(注1)当期増加額の主なものは、がんセンターの高精度放射線治療システム(医療用リニアック)528,120,000円でございます。

(2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他(注)		
医薬品	83,084,564	3,177,020,345	0	3,166,576,654	8,926,561	84,601,694	
診療材料	46,368,553	516,847,528	0	510,674,178	2,864,414	49,677,489	
貯蔵品	2,694,344	91,296,093	0	90,749,550	0	3,240,887	
計	132,147,461	3,785,163,966	0	3,768,000,382	11,790,975	137,520,070	

(注)当期減少額のその他には、期限切れによる廃棄もしくは滅失した資産を記載しております。

(3) 有価証券の明細

(単位:円)

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期損益に含まれた評価差額	摘 要
	地方債 宮城県公募公債第10回1号	99,980,000	100,000,000	99,990,666	4,000	
	計	99,980,000	100,000,000	99,990,666	4,000	

(4) 長期借入金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘要
23年度 災害復旧貸付金	41,310,324	—	6,765,339	34,544,985	0.700%	平成34年3月1日	
医療機械器具整備事業貸付金	54,800,000	—	54,800,000	0	0.335%	平成29年3月28日	
施設整備事業貸付金	38,466,668	—	9,616,666	28,850,002	0.694%	平成32年3月30日	
施設整備事業貸付金	22,575,000	—	3,762,500	18,812,500	0.830%	平成34年3月28日	
医療機械等購入事業貸付金	113,800,000	—	56,900,000	56,900,000	0.162%	平成30年3月29日	
施設整備事業貸付金	36,584,000	—	7,316,000	29,268,000	0.300%	平成33年3月29日	
施設整備事業貸付金	454,300,000	—	0	454,300,000	1.500%	平成55年3月30日	
医療機械器具整備事業貸付金	561,190,000	—	160,340,000	400,850,000	0.391%	平成31年9月27日	
施設整備事業貸付金	490,100,000	—	0	490,100,000	1.400%	平成56年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	263,100,000	—	87,700,000	175,400,000	0.241%	平成31年3月28日	
施設整備事業貸付金	125,200,000	—	0	125,200,000	1.200%	平成57年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	726,700,000	—	181,675,000	545,025,000	0.164%	平成32年3月27日	
医療機械器具整備事業貸付金	293,600,000	—	0	293,600,000	0.072%	平成33年3月29日	
施設整備事業貸付金	158,200,000	—	0	158,200,000	0.500%	平成58年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	0	757,800,000	0	757,800,000	0.068%	平成34年3月29日	
施設整備事業貸付金	0	18,400,000	0	18,400,000	0.300%	平成46年3月20日	
施設整備事業貸付金	0	371,500,000	0	371,500,000	0.600%	平成59年3月20日	
計	3,379,925,992	1,147,700,000	568,875,505	3,958,750,487	—	—	

(5) 移行前地方債償還の明細

(単位:円)

銘 柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
大蔵省資金運用部	12,082,552	—	3,836,128	8,246,424	4.850%	平成31年3月25日	
大蔵省資金運用部	2,218,998,762	—	277,146,639	1,941,852,123	4.400%	平成35年3月25日	
大蔵省資金運用部	149,027,541	—	16,357,056	132,670,485	3.650%	平成36年3月1日	
大蔵省資金運用部	58,863,916	—	4,361,539	54,502,377	2.100%	平成40年3月1日	
大蔵省資金運用部	202,851,338	—	13,723,750	189,127,588	2.100%	平成41年3月1日	
大蔵省資金運用部	32,152,229	—	2,175,234	29,976,995	2.100%	平成41年3月1日	
公営企業金融公庫	181,490,152	—	11,201,394	170,288,758	2.200%	平成42年3月20日	
財務省財政融資資金	47,672,052	—	2,515,763	45,156,289	2.200%	平成44年3月1日	
財務省財政融資資金	401,707,151	—	21,199,005	380,508,146	2.200%	平成44年3月1日	
財務省財政融資資金	301,343,777	—	16,481,400	284,862,377	0.900%	平成45年3月25日	
公営企業金融公庫	548,463	—	27,154	521,309	2.100%	平成45年3月20日	
公営企業金融公庫	11,450,431	—	552,454	10,897,977	2.000%	平成45年9月20日	
財務省財政融資資金	488,545,472	—	20,509,621	468,035,851	2.100%	平成47年9月25日	
公営企業金融公庫	1,683,133	—	1,683,133	0	1.700%	平成29年3月20日	
財務省財政融資資金	56,062,601	—	2,028,524	54,034,077	2.100%	平成50年3月1日	
公営企業金融公庫	35,000,365	—	1,424,643	33,575,722	2.100%	平成48年3月20日	
三井住友銀行	266,623,498	—	57,153,786	209,469,712	2.060%	平成33年3月25日	
東和銀行	888,357,152	—	151,773,814	736,583,338	1.030%	平成34年3月25日	
計	5,354,460,585	—	604,151,037	4,750,309,548			

(6) 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他(注)		
退職給付引当金	4,845,395,213	361,272,258	196,433,192		5,010,234,279	
賞与引当金	412,910,587	413,202,463	412,910,587		413,202,463	
貸倒引当金	39,747,643	3,711,754	4,134,327	5,706,358	33,618,712	
計	5,298,053,443	778,186,475	613,478,106	5,706,358	5,457,055,454	

(注)貸倒引当金の当期減少額のその他は、回収による取崩しによるものです。

(7) 資本金の明細

(単位:円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	設立団体出資金	174,353,108	0	0	174,353,108	
	計	174,353,108	0	0	174,353,108	

(8) 積立金等の明細

ア 積立金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
積立金	355,570,576	0	332,320,950	23,249,626	
計	355,570,576	0	332,320,950	23,249,626	

(注)積立金の当期減少額は、繰越欠損金処理による取崩しによるものです。

(9) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

ア 運営費負担金債務

(単位:円)

交付年度	期首残高	負担金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	小計	
平成28年度	41,630,000	4,035,464,311	3,215,833,311	783,986,000	0	3,999,819,311	77,275,000
計	41,630,000	4,035,464,311	3,215,833,311	783,986,000	0	3,999,819,311	77,275,000

イ 運営費負担金収益

業務等区分	平成28年度負担分	合計
期間進行基準	3,099,646,311	3,099,646,311
費用進行基準	116,187,000	116,187,000
計	3,215,833,311	3,215,833,311

(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細

ア 補助金等の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資産剰余金	長期預り補助金等	収益計上	
第二期地域医療復興事業(第二期認定看護師課程派遣助成事業)補助金	800,000					800,000	
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	18,000,000					18,000,000	
新人看護職員研修事業補助金	895,000					895,000	
がんのゲノム医療・集学的治療推進事業補助金	585,000		0			585,000	
医師臨床研修費補助事業補助金	46,049		0			46,049	
計	20,326,049	0	0	0	0	20,326,049	

(11) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報酬または給与		退職手当	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役 員	(1,680)	(4)	(0)	(0)
	24,519	2	0	0
職 員	(265,913)	(137)	(0)	(0)
	6,018,124	822	196,433	42
計	(267,593)	(141)	(0)	(0)
	6,042,643	824	196,433	42

(注1)

非常勤・有期職員については、外数として()内に記載しています。

また、支給人数については、年間平均支給人数で記載しています。

(注2)

役員報酬については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員給与及び退職手当については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員給与規程」及び「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員退職手当規程」に基づき支給しています。

(注3)

上記明細には、法定福利費は含めていません。

(12) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区分		循環器・呼吸器病 セ ン タ ー	精神医療センター	がんセンター	計	機構本部	合計	
営業収益		1,724,457,798	2,889,162,806	11,108,630,414	15,722,251,018	10,106,741	15,732,357,759	
	医業収益	855,387,491	1,958,288,532	8,967,191,151	11,780,867,174	0	11,780,867,174	
	運営費負担金	800,461,803	893,780,199	1,396,782,309	3,091,024,311	8,622,000	3,099,646,311	
	資産見返負債戻入	68,608,504	36,894,075	725,200,905	830,703,484	0	830,703,484	
	その他営業収益	0	200,000	19,456,049	19,656,049	1,484,741	21,140,790	
営業費用		2,199,353,754	2,693,070,090	10,944,627,904	15,837,051,748	176,238,394	16,013,290,142	
	医業費用	2,137,352,992	2,646,726,530	10,526,127,402	15,310,206,924	1,104,926	15,311,311,850	
	一般管理費	0	0	0	0	173,307,654	173,307,654	
	その他営業費用	62,000,762	46,343,560	418,500,502	526,844,824	1,825,814	528,670,638	
営業損益		△ 474,895,956	196,092,716	164,002,510	△ 114,800,730	△ 166,131,653	△ 280,932,383	
営業外収益		14,174,902	25,381,980	161,679,608	201,236,490	18,792	201,255,282	
	運営費負担金収益	10,811,000	8,360,000	97,016,000	116,187,000	0	116,187,000	
	その他営業外収益	3,363,902	17,021,980	64,663,608	85,049,490	18,792	85,068,282	
営業外費用		15,054,077	13,340,121	191,614,708	220,008,906	2,708,189	222,717,095	
	財務費用	13,173,988	10,902,959	146,077,075	170,154,022	0	170,154,022	
	その他営業外費用	1,880,089	2,437,162	45,537,633	49,854,884	2,708,189	52,563,073	
経常損益		△ 475,775,131	208,134,575	134,067,410	△ 133,573,146	△ 168,821,050	△ 302,394,196	
総資産		2,142,749,812	2,419,255,597	9,824,520,843	14,386,526,252	2,189,424,065	16,575,950,317	
(主要資産内訳)								
	固定資産	有形固定資産	1,923,455,437	1,965,599,513	7,818,452,758	11,707,507,708	4,337,829	11,711,845,537
	流動資産	現金及び預金	374,900	384,952	2,756,304	3,516,156	2,080,529,499	2,084,045,655
		未収金	129,897,989	343,364,295	1,428,053,391	1,901,315,675	2,506,760	1,903,822,435

(注)セグメントの区分については、地方独立行政法人宮城県立病院機構会計規程に基づき、経理単位に区分しています。

(13) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科目	金額	
医業費用		
給与費		
給料	3,255,157,294	
手当等	2,263,317,856	
賃金	228,598,983	
法定福利費	1,266,024,251	
退職給付費用	355,592,958	
賞与引当金繰入額	406,871,293	7,775,562,635
材料費		
薬品費	3,166,576,654	
診療材料費	510,674,178	
医療消耗備品費	6,006,644	
たな卸資産減耗費	10,477,723	3,693,735,199
経費		
報償費	162,342,895	
旅費交通費	6,261,419	
職員被服費	9,586,100	
消耗品費	51,800,105	
消耗備品費	2,720,815	
光熱水費	238,912,519	
燃料費	77,791,894	
交際費	217,024	
食糧費	97,265	
印刷製本費	3,950,735	
修繕費	95,360,808	
保険料	14,988,194	
広告宣伝費	2,410,187	
通信運搬費	13,754,035	
賃借料	73,370,164	
委託料	1,571,924,105	
職員採用費	146,807	
諸会費	3,863,240	
雑費	26,399,241	2,355,897,552
減価償却費		
建物減価償却費	504,921,066	
構築物減価償却費	14,814,946	
器械備品減価償却費	690,396,007	
車両減価償却費	201,767	
無形固定資産減価償却費	125,144,706	1,335,478,492
研究研修費		
研究材料費	14,784,858	
報償費	1,644,486	
研究旅費	42,950,778	
図書費	12,569,059	
研究雑費	78,688,791	150,637,972
医業費用合計		15,311,311,850
取得資産に係る控除対象外消費税償却		53,173,626
控除対象外消費税(消費税損失)		475,497,012
合 計		15,839,982,488

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
給料	52,763,472	
手当等	24,210,520	
賃金	12,160,570	
報酬	26,114,705	
法定福利費	24,507,727	
退職給付費用	5,679,300	
賞与引当金繰入額	6,331,170	151,767,464
経費		
報償費	1,474,167	
旅費交通費	863,564	
消耗品費	907,089	
消耗備品費	92,000	
光熱水費	559,934	
燃料費	187,462	
交際費	652,513	
修繕費	140,000	
保険料	50,980	
通信運搬費	278,070	
賃借料	734,774	
委託料	6,415,630	
職員採用費	814,146	
諸会費	188,500	
雑費	1,152,782	14,511,611
減価償却費		
器械備品減価償却費	3,284,320	
車両減価償却費	265,259	
無形固定資産減価償却費	3,479,000	7,028,579
一般管理費合計		173,307,654

(14) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

現金及び預金の内訳

区分	期末残高	備考
現金	3,566,156	
普通預金	2,080,479,499	
定期預金	0	
計	2,084,045,655	

決 算 報 告 書

平成28年度

(第6期事業年度)

自 平成28年4月 1 日

至 平成29年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

平成 2 8 年 度 決 算 報 告 書

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	17,094,846,000	15,760,708,066	△ 1,334,137,934	
医業収益	13,126,497,000	11,809,217,481	△ 1,317,279,519	入院患者の減少による収益減 高額薬剤を用いた治療が当初見込 みより少なかったことによる減
運営費負担金	3,116,581,000	3,099,646,311	△ 16,934,689	
資産見返運営費負担金戻入	783,986,000	783,986,000		
その他営業収益	67,782,000	67,858,274	76,274	
営業外収益	196,570,000	206,751,055	10,181,055	
運営費負担金	116,185,000	116,187,000	2,000	
その他営業外収益	80,385,000	90,564,055	10,179,055	仮設住宅等用地賃借料による増
臨時利益	0	5,706,358	5,706,358	
目的積立金取崩額	33,528,000	0	△ 33,528,000	
資本収入	2,151,700,000	1,147,700,000	△ 1,004,000,000	
運営費負担金	0	0	0	
長期借入金	2,151,700,000	1,147,700,000	△ 1,004,000,000	建替業務の着工時期の変更等による 借入金額減
その他資本収入	0	0	0	
計	19,476,644,000	17,120,865,479	△ 2,355,778,521	
支出				
営業費用	17,053,912,000	16,043,739,193	△ 1,010,172,807	
医業費用	16,411,901,000	15,493,326,423	△ 918,574,577	
給与費	7,939,347,000	7,782,912,139	△ 156,434,861	当初見込時より職員数減による
材料費	4,188,498,000	3,693,735,199	△ 494,762,801	高額薬品を用いた治療の増加による
経費	2,718,689,000	2,521,385,110	△ 197,303,890	燃料単価の低下、契約請差等による 減
減価償却費	1,348,173,000	1,335,478,492	△ 12,694,508	
研究研修費	217,194,000	159,815,483	△ 57,378,517	
一般管理費	210,431,000	174,614,970	△ 35,816,030	
給与費	179,062,000	151,961,028	△ 27,100,972	当初見込時より職員数減によるもの
経費	24,120,000	15,625,363	△ 8,494,637	委託料等の減によるもの
減価償却費	7,249,000	7,028,579	△ 220,421	
消費税及び地方消費税	34,074,000	19,821,300	△ 14,252,700	課税取引の減少による
取得資産に係る控除対象外消費税償却	53,872,000	53,173,626	△ 698,374	
控除対象外消費税	343,634,000	302,802,874	△ 40,831,126	課税取引の減少による
営業外費用	257,638,000	226,114,124	△ 31,523,876	予備費の減
臨時損失	3,000	4,034,319	4,031,319	源泉所得税分の不納付加算税分の 増
資本支出	3,598,637,000	2,428,186,041	△ 1,170,450,959	
建設改良費	2,425,607,000	1,255,159,499	△ 1,170,447,501	建替業務の工期延期及び資産購入 の請差等による減
償還金	1,173,030,000	1,173,026,542	△ 3,458	
その他資本支出	0	0	0	
計	20,910,190,000	18,702,073,677	△ 2,208,116,323	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成28年度決算報告書

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	1,945,025,000	1,725,091,261	△ 219,933,739	
医業収益	1,077,086,000	856,020,954	△ 221,065,046	入院患者の減少による収益減
運営費負担金	799,331,000	800,461,803	1,130,803	27年度分の精算に伴う増
資産見返運営費負担金戻入	56,436,000	56,436,000	0	
その他営業収益	12,172,000	12,172,504	504	
営業外収益	14,753,000	14,273,890	△ 479,110	
運営費負担金	10,811,000	10,811,000	0	
その他営業外収益	3,942,000	3,462,890	△ 479,110	
臨時利益	0	88,750	88,750	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	7,500,000	0	△ 7,500,000	
資本収入	94,300,000	37,500,000	△ 56,800,000	
長期借入金	94,300,000	37,500,000	△ 56,800,000	資産購入の取りやめ、請差に伴う借入の減
その他資本収入	0	0	0	
計	2,061,578,000	1,776,953,901	△ 284,624,099	
支出				
営業費用	2,397,689,000	2,200,083,104	△ 197,605,896	
医業費用	2,365,331,000	2,171,659,573	△ 193,671,427	
給与費	1,261,415,000	1,143,950,644	△ 117,464,356	当初見込時より職員数減によるもの
材料費	229,049,000	203,858,042	△ 25,190,958	患者数の減による
経費	603,145,000	559,119,858	△ 44,025,142	燃料単価の低下、契約請差等による減
減価償却費	256,333,000	253,610,194	△ 2,722,806	
研究研修費	15,389,000	11,120,835	△ 4,268,165	
消費税及び地方消費税	941,000	428,140	△ 512,860	課税取引の減少による
取得資産に係る控除対象外消費税償却	11,085,000	10,395,613	△ 689,387	
控除対象外消費税	20,332,000	17,599,778	△ 2,732,222	課税取引の減少による
営業外費用	16,063,000	15,057,178	△ 1,005,822	
臨時損失	1,000	2,471,914	2,470,914	源泉所得税分の不納付加算税分の増
資本支出	214,667,000	154,893,711	△ 59,773,289	
建設改良費	108,219,000	48,446,748	△ 59,772,252	資産購入の取りやめ、請差に伴う減
償還金	106,448,000	106,446,963	△ 1,037	
計	2,628,420,000	2,372,505,907	△ 255,914,093	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成28年度決算報告書

【精神医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	3,073,641,000	2,896,128,787	△ 177,512,213	
医業収益	2,123,924,000	1,965,254,513	△ 158,669,487	入院患者の減少による収益減
運営費負担金	912,673,000	893,780,199	△ 18,892,801	埋蔵文化財発掘調査費分の減
資産見返運営費負担金戻入	29,115,000	29,115,000	0	
その他営業収益	7,929,000	7,979,075	50,075	
営業外収益	19,164,000	26,083,363	6,919,363	
運営費負担金	8,358,000	8,360,000	2,000	
その他営業外収益	10,806,000	17,723,363	6,917,363	仮設住宅等用地賃借料による増
臨時利益	0	5,137,507	5,137,507	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	5,028,000	0	△ 5,028,000	
資本収入	367,100,000	13,900,000	△ 353,200,000	
長期借入金	367,100,000	13,900,000	△ 353,200,000	建替業務の着工時期の変更等による借入金額減
計	3,464,933,000	2,941,249,657	△ 523,683,343	
支出				
営業費用	2,719,781,000	2,700,711,958	△ 19,069,042	
医業費用	2,692,727,000	2,679,210,520	△ 13,516,480	
給与費	1,881,688,000	1,923,847,759	42,159,759	当初見込時より職員数増によるもの
材料費	150,088,000	138,822,096	△ 11,265,904	患者数の減による
経費	508,498,000	463,905,555	△ 44,592,445	燃料単価の低下、契約請差等による減
減価償却費	136,495,000	135,532,193	△ 962,807	
研究研修費	15,958,000	17,102,917	1,144,917	
消費税及び地方消費税	8,616,000	4,489,524	△ 4,126,476	課税取引の減少による
取得資産に係る控除対象外消費税償却	3,702,000	3,665,587	△ 36,413	
控除対象外消費税	14,736,000	13,346,327	△ 1,389,673	課税取引の減少による
営業外費用	14,484,000	13,365,617	△ 1,118,383	
臨時損失	1,000	1,562,357	1,561,357	源泉所得税分の不納付加算税分の増
資本支出	578,393,000	70,367,386	△ 508,025,614	
建設改良費	532,282,000	24,257,635	△ 508,024,365	建替業務の着工時期の変更及び資産購入の請差等による減
償還金	46,111,000	46,109,751	△ 1,249	
計	3,312,659,000	2,786,007,318	△ 526,651,682	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成28年度決算報告書

【がんセンター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	12,066,448,000	11,129,381,277	△ 937,066,723	
医業収益	9,925,487,000	8,987,942,014	△ 937,544,986	入院患者の減少による収益減 高額薬剤を用いた治療が当初見込みより少なかったことによる減
運営費負担金	1,395,955,000	1,396,782,309	827,309	27年度分の精算に伴う増
資産見返運営費負担金戻入	698,435,000	698,435,000		
その他営業収益	46,571,000	46,221,954	△ 349,046	
営業外収益	162,482,000	166,375,010	3,893,010	
運営費負担金	97,016,000	97,016,000	0	
その他営業外収益	65,466,000	69,359,010	3,893,010	テレビ設置貸付料の増による
臨時利益	0	360,840	360,840	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	20,000,000	0	△ 20,000,000	
資本収入	1,690,300,000	1,096,300,000	△ 594,000,000	
長期借入金	1,690,300,000	1,096,300,000	△ 594,000,000	大規模修繕の計画変更及び資産購入の請差に伴う借入の減
その他資本収入	0	0	0	
計	13,939,230,000	12,392,417,127	△ 1,546,812,873	
支出				
営業費用	11,716,926,000	10,966,705,737	△ 750,220,263	
医業費用	11,345,213,000	10,641,263,026	△ 703,949,974	
給与費	4,796,244,000	4,715,113,736	△ 81,130,264	当初見込時より職員数減によるもの
材料費	3,809,361,000	3,351,055,061	△ 458,305,939	高額薬剤を用いた治療が当初見込みより少なかったことによる減
経費	1,607,046,000	1,498,359,697	△ 108,686,303	燃料単価の低下、契約請差等による減
減価償却費	955,345,000	946,336,105	△ 9,008,895	
研究研修費	177,217,000	130,398,427	△ 46,818,573	
消費税及び地方消費税	24,517,000	14,903,636	△ 9,613,364	課税取引の減少による
取得資産に係る控除対象外消費税償却	38,666,000	38,694,345	28,345	
控除対象外消費税	308,530,000	271,844,730	△ 36,685,270	課税取引の減少による
営業外費用	197,091,000	194,983,140	△ 2,107,860	
臨時損失	1,000	48	△ 952	
資本支出	2,805,577,000	2,202,924,944	△ 602,652,056	
建設改良費	1,785,106,000	1,182,455,116	△ 602,650,884	大規模修繕の計画変更及び資産購入の請差に伴う減
償還金	1,020,471,000	1,020,469,828	△ 1,172	
計	14,719,595,000	13,364,613,869	△ 1,354,981,131	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成28年度決算報告書

【本部】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	9,732,000	10,106,741	374,741	
運営費負担金	8,622,000	8,622,000	0	
資産見返運営費負担金戻入	0	0		
その他営業収益	1,110,000	1,484,741	374,741	認定看護師課程派遣助成金等による増
営業外収益	171,000	18,792	△ 152,208	
運営費負担金	0	0	0	
その他営業外収益	171,000	18,792	△ 152,208	
臨時利益	0	119,261	119,261	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	1,000,000	0	△ 1,000,000	
計	10,903,000	10,244,794	△ 658,206	
支出				
営業費用	219,516,000	176,238,394	△ 43,277,606	
医業費用	8,630,000	1,193,304	△ 7,436,696	
経費	0	0	0	
研究研修費	8,630,000	1,193,304	△ 7,436,696	経費の他病院付替、執行残による減
一般管理費	210,431,000	174,614,970	△ 35,816,030	
給与費	179,062,000	151,961,028	△ 27,100,972	当初見込時より職員数減によるもの
経費	24,120,000	15,625,363	△ 8,494,637	委託料等の減
減価償却費	7,249,000	7,028,579	△ 220,421	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	419,000	418,081	△ 919	
控除対象外消費税	36,000	12,039	△ 23,961	
営業外費用	30,000,000	2,708,189	△ 27,291,811	予備費の減
臨時損失	0	0	0	
資本支出	0	0	0	
建設改良費	0	0	0	
償還金	0	0	0	
その他資本支出	0	0	0	
計	249,516,000	178,946,583	△ 70,569,417	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

業 務 実 績 報 告 書

平成28年度
(第6期事業年度)



自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

地方独立行政法人 宮城県立病院機構

目 次

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名称	1 ページ
2 所在地	1 ページ
3 法人設立年月日	1 ページ
4 設立団体	1 ページ
5 設立目的	1 ページ
6 業務の内容	1 ページ
7 役員	1 ページ
8 組織の現況	2 ページ
9 組織図	3 ページ
10 職員の現況	4 ページ

II 事業報告

1 事業を取り巻く環境	5 ページ
2 平成28年度の主な取組(重点事項の実施状況)	6 ページ
3 平成28年度の経営状況	13 ページ

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名 称

地方独立行政法人宮城県立病院機構

2 所 在 地

宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1

3 法人設立年月日

平成23年4月1日

4 設立団体

宮城県

5 設立目的

地方独立行政法人宮城県立病院機構は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、宮城県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに、医療に関する調査及び研究を行い、県内における医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする。

6 業務の内容

- ① 医療の提供及びその附帯業務
- ② 医療に関する調査及び研究並びにその附帯業務
- ③ 医療に関する技術者の研修及びその附帯業務

7 役 員（平成29年3月31日現在）

理 事 長	西 條 茂
副理事長	千 葉 裕 一
理 事	伊 藤 康 博（循環器・呼吸器病センター院長兼務）
理 事	角 藤 芳 久（精神医療センター院長兼務）
理 事	片 倉 隆 一（がんセンター総長兼務）
理 事	小野寺 博 義（がんセンター院長兼務）
理 事	近 藤 俊 之
理 事	千 葉 はるみ
監 事	小 山 かほる
監 事	柳 川 輝 久

8 組織の現況

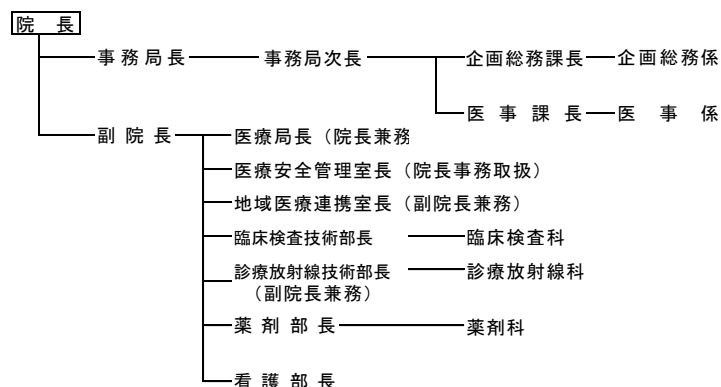
(平成29年3月31日現在)

区 分	循環器・呼吸器病センター	精神医療センター	がんセンター	本 部
所 在 地	〒989-4513 栗原市瀬峰根岸55-2 Tel 0228-38-3151	〒981-1231 名取市手倉田字山無番地 Tel 022-384-2236	〒981-1293 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel 022-384-3151	〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel 022-796-1042
開設年月日	昭和27年12月15日 (平成15年4月1日 瀬峰病院から改称)	昭和32年 4月12日 (平成15年4月1日 名取病院から改称)	昭和42年4月1日 (平成5年4月1日 成人病センターから改称)	
診療科目	循環器科, 呼吸器科, 心臓血管外科, 呼吸器 外科, 消化器科, 放射 線科	精神科, 児童精神科, 歯科	循環器内科, 糖尿病・代謝内 科, 血液内科, 腫瘍内科, 呼 吸器内科, 呼吸器外科, 消化 器内科, 消化器外科, 乳腺外 科, 整形外科, 形成外科, 脳 神経外科, 泌尿器科, 婦人 科, 眼科, 頭頸部外科, 頭頸 部内科, 放射線診断科, 放射 線治療科, 麻酔科, 病理診断 科, 緩和ケア内科, 歯科, 臨 床検査科	
病 床 数	一般病床 90床 (うち休床30床) 結核病床 50床	精神病床 258床 (うち救急病床8床, 結核合併病床2床)	一般病床 383床 (うち緩和ケア病床 25床)	
入院基本料 (施設基準)	一般病棟 一般病棟入院基本料 (7対1入院基本料) 感染病棟 結核病棟入院基本料 (10対1入院基本料)	精神病棟 精神病棟入院基本料 (15対1入院基本料) 精神病棟 精神科救急入院料 I	一般病棟 専門病院入院基本料 (7対1入院基本料) (10対1入院基本料) 緩和ケア病棟 緩和ケア病棟入院料	
主要職員	院 長 伊 藤 康 博 副院長 平 潟 洋 一 臨床検査 技術部長 氏 家 雪 乃 薬剤部長 小 坂 卓 哉 看護部長 畠 山 純 子 事務局長 山 越 勝 彦	院 長 角 藤 芳 久 副院長 船 越 俊 一 医療局長 大 野 高 志 社会生活 支援部長 佐 竹 嘉 裕 看護部長 齋 藤 弘 子 事務局長 氏 家 栄 市	総 長 片 倉 隆 一 院 長 小野寺 博義 研究所長 島 礼 副院長 藤 谷 恒 明 医療局長 山 田 秀 和 臨床検査 技術部長 本 田 智 子 看護部長 星 久 美 薬剤部長 高 村 千 津 子 診療放射線 技術部長 佐 藤 益 弘 事務局長 相 馬 敬 喜	事務局長 杉 下 泰 彦 看護専門監 我妻 代志子

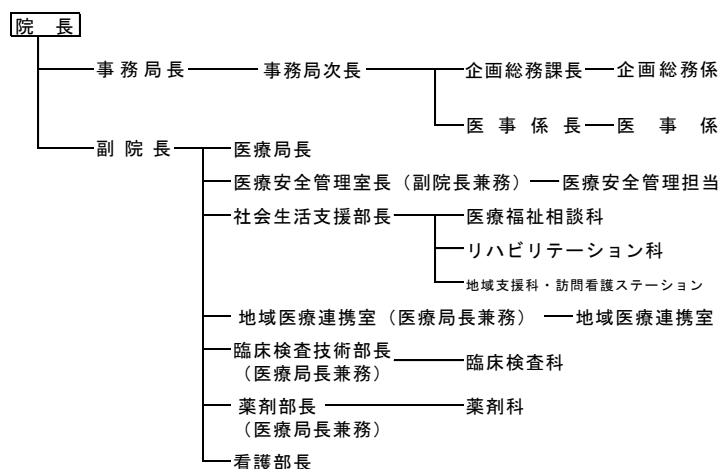
9 組織図

(平成29年3月31日現在)

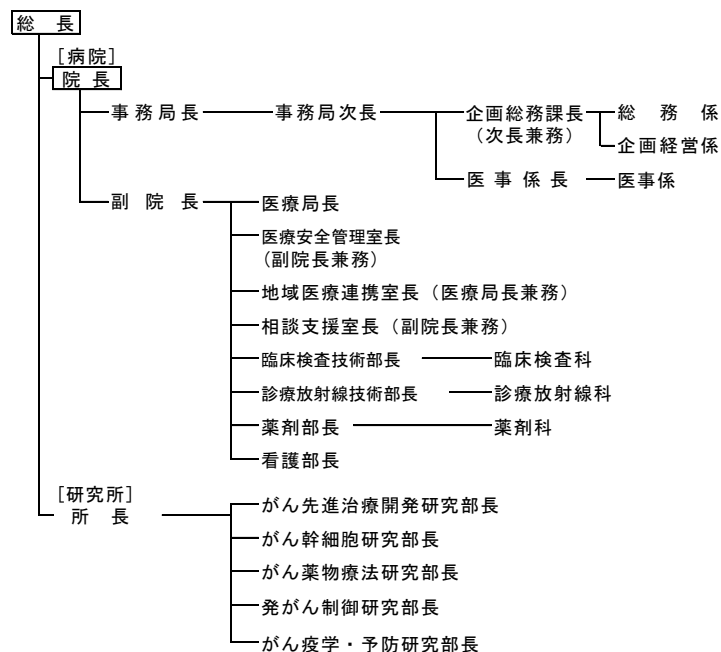
【循環器・呼吸器病
センター】



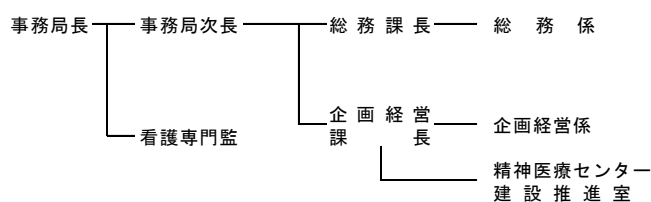
【精神医療センター】



【がんセンター】



【本部】



10 職員の状況

(平成29年3月31日現在)

職 種 等		循環器・呼吸器 病センター			精神医療セン ター			がんセンター			本部事務局			計		
		前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)
理 事 長 ・ 副 理 事 長				人 0			人 0			人 0	2	2	0	2	2	人 0
医 師		10	6	△ 4	18	19	1	73	78	5			0	101	103	2
看護 職 員	看護 師	77	73	△ 4	137	146	9	311	319	8	1	1	0	526	539	13
	准 看護 師	0	0	0	2	2	0			0			0	2	2	0
	看護 助手			0			0			0			0	0	0	0
	計	77	73	△ 4	139	148	9	311	319	8	1	1	0	528	541	13
医 療 技 術 職 員	薬 剤 師	6	6	0	6	6	0	20	24	4			0	32	36	4
	診療放射線技師	10	9	△ 1			0	25	25	0			0	35	34	△ 1
	臨床検査技師	8	8	0	3	3	0	21	21	0			0	32	32	0
	保健 師			0	2	1	△ 1			0			0	2	1	△ 1
	臨床心理士			0	3	4	1	1	1	0			0	4	5	1
	作業・理学療法士	1	1	0	6	5	△ 1	2	2	0			0	9	8	△ 1
	臨床工学技士	3	3	0			0	3	3	0			0	6	6	0
	医療ソーシャルワーカー	0	0	0			0	2	2	0			0	2	2	0
	精神保健福祉士			0	7	8	1			0			0	7	8	1
	栄 養 士	2	1	△ 1	2	3	1	2	2	0			0	6	6	0
	化 学			0			0	2	2	0			0	2	2	0
	研 究			0			0	2	3	1			0	2	3	1
	歯科衛生士							0	0	0				0	0	0
	言語聴覚士							1	1	0				1	1	0
	試験検査補助			0			0	1	1	0			0	1	1	0
	計	30	28	△ 2	29	30	1	82	87	5	0	0	0	141	145	4
事 務 職 員		11	10	△ 1	11	11	0	16	17	1	17	17	0	55	55	0
合 計		128	117	△ 11	197	208	11	482	501	19	20	20	0	827	846	19

宮城県からの派遣職員数 (上記の内数)	3	2	△ 1	3	2	△ 1	4	2	△ 2	9	7	△ 2	19	13	△ 6
------------------------	---	---	-----	---	---	-----	---	---	-----	---	---	-----	----	----	-----

Ⅱ 事業報告

1 事業を取り巻く環境

循環器・呼吸器病センター，精神医療センター，がんセンターの宮城県立3病院は，県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに，医療に関する調査及び研究を行い，県内における医療水準の向上を図り，もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的としております。

医療ニーズの多様化や国の医療制度の変化への対応など，県立病院を取り巻く環境が厳しさを増していることから，医療環境の変化や経営状況に応じた柔軟で弾力的な病院運営を行い，より一層の自律性，機動性が発揮できるよう，平成23年4月に地方独立行政法人に移行し，職員が一丸となって業務の遂行に当たっております。

病院の概要

(平成29年3月31日現在)

病院名	所在地	病床数	診療科	開院年月日	備 考
循環器・呼吸器病センター	栗原市	140 床	循環器科，呼吸器科，心臓血管外科，呼吸器外科，消化器科，放射線科	S27. 12. 15	H15. 4. 1 瀬峰病院から改称
精神医療センター	名取市	258 床	精神科，児童精神科，歯科	S32. 4. 12	H15. 4. 1 名取病院から改称
がんセンター	名取市	383 床	循環器内科，糖尿病・代謝内科，血液内科，腫瘍内科，呼吸器内科，呼吸器外科，消化器内科，消化器外科，乳腺外科，整形外科，形成外科，脳神経外科，泌尿器科，婦人科，眼科，頭頸部外科，頭頸部内科，放射線診断科，放射線治療科，麻酔科，病理診断科，緩和ケア内科，歯科，臨床検査科	S42. 4. 1	H5. 4. 1 成人病センターから改称

法人化後においても引き続き医療の質を高め，民間の医療機関では対応が難しい政策医療や高度・専門医療を提供するとともに，経営の安定に努め，県立病院としての役割を果たしながら，効率的な運営を図っていく必要があります。

2 平成28年度の主な取組（重点事項の実施状況）

法人化6年目となる平成28年度においても、変化する医療環境や厳しさを増す経営環境に適確に対応し、「医療の質」と「経営の質」を意識した病院運営を行うとともに、県立病院機構職員一人ひとりが高度・専門医療を担う役割を自覚し、安全かつ確実な医療の提供に努めてまいりました。

変化する医療環境に対応し、「医療の質」の向上に取り組むことにより、患者とその家族が納得し、安心・信頼して診療を受けられる病院であり続けることを目指しました。

（1）質の高い医療の提供

イ 循環器・呼吸器病センター

県北地域のセーフティネットの一角を担う県立病院として、循環器系及び呼吸器系疾患を中心とした良質な医療サービスの提供に努め、救急告示病院として24時間365日救急体制の中で、救急患者386人〔前年度477人〕に対応しました。

心臓血管外科及び呼吸器外科については、大崎・栗原地域の医療提供体制の再編に合わせ、平成26年6月から全身麻酔を使う手術を廃止し、外来患者の診療を主な業務としました。なお、心臓カテーテル検査・治療及びペースメーカー手術は継続して実施しています。

呼吸器科については、県内唯一の結核入院患者の受入機関として適切な結核医療の提供に努めながら、地域連携カンファレンスを定期的に開催し、地域医療機関との連携強化に努めました。

また、重症呼吸器感染症患者に適切に対応するため、感染特区職員配置など院内体制の整備を図るとともに、東北大学や所轄保健所等との連携の強化や職員の専門性を高めるための研修等を実施しました。

その他、入院時栄養食事指導や病棟における服薬指導の充実、「糖尿病教室」の定期開催など、各部署において質の高い医療の提供に取り組むと共に、平成28年9月に「第2回健康まつり」を開催し、地域住民を対象とした講演や健康相談を行いました。

なお、高度医療機器の効率的活用を図るため、地域医療機関等に対するPR活動に取り組み、検査依頼件数528件〔前年度284件〕に対応しました。

さらに、心大血管疾患リハビリテーションについては、入院患者の在宅復帰率の向上を図ると共に、心臓リハビリ無料体験会などの実施により外来心臓リハビリテーションの充実に努めました。

ロ 精神医療センター

多様な対応が求められる急性期治療をより向上させていくため、東 1・東 2 病棟のバックアップ病棟を有効利用し、慢性重症患者の受け入れに備えるなど、精神科救急入院料算定病棟（北 1 病棟・北 2 病棟）において、高度医療を短期間、集中的に行えるよう治療環境の改善に努めました。

また、救急・急性期の患者受け入れを円滑に行うため、今年度より毎週月曜日に院長チームラウンドを開始し、入院が長期化している患者の症例検討を行っております。平成 27 年度より引き続き、医師と各部署が参加し毎朝総合診療会議を開催し、ベッド調整を行い、隔離室・個室の確保に努めたほか、保健所等からの救急入院依頼を積極的に受け入れました。

その他、自立生活支援事業において、患者が地域で自立し安定した生活を送れるよう、地域支援者を交えたケア会議や退院支援委員会を開催し計画的な支援を展開するとともに、心理教育や作業療法等早期リハビリテーションの提供に努めました。

また、入院中は多職種チームでの退院前訪問を積極的に行うとともに、退院後は訪問看護ステーション「ゆとり」を中心とした訪問を実施し、利用者の在宅支援や再発・再入院の防止に取り組みました。

児童思春期医療の提供については、平成 27 年に整備した児童思春期ユニット 14 床においては、平成 28 年 1 月から児童・思春期精神科入院医療管理料の算定を開始しており、精神保健福祉士及び臨床心理士を配置し、入院患者の受入の拡大に取り組んだ。

また、児童相談所や教育機関、関連諸機関との連携強化に取り組み、入院患者の確保に努めました。

ハ がんセンター

がんの種類や患者の状態に応じた最適な医療を提供するため、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療の一層の促進を図りました。

都道府県がん診療連携拠点病院の指定更新に伴い必須となった緩和ケアセンターに平成 28 年度から専従のジェネラルマネージャーを配置し、緩和ケアの体制強化に努めました。

また、PET-CT、血液検査、腹部超音波検査、上部内視鏡検査な

どを組み合わせた「総合がん検診」の料金について、受診者からの意見を踏まえ、受診者が利用しやすい価格帯への引き下げを行ったほか、「がん何でも講座」などのがん予防に関する県民への啓発活動に取り組みました。

（２）安全・安心な医療の提供

イ 循環器・呼吸器病センター

医療安全対策に関する院内研修を定期的実施しており、特に「医療機器取扱安全研修」を重点的に実施しました。

また、医療安全管理マニュアルの見直し、ヒヤリハット事例等の分析・改善策検討を行い、全職員に周知徹底するなど、医療事故の発生防止に努めました。

ロ 精神医療センター

医療事故又はヒヤリハット等の発生時には、速やかに状況の把握・分析・対応と再発防止に取り組むとともに、医療安全管理指針及びマニュアルの見直しによる安全・安心な医療の提供に努めました。

ハ がんセンター

毎週開催される医療安全管理室会議において、各部署から提出されるインシデント事例について、必要に応じて現場ラウンドによる現状確認なども行ったうえで、要因分析と対策案の検討を行いました。この結果は医療安全管理委員会に報告するとともに、これらの情報・分析内容を基に、医療安全マニュアルを改訂し、全職員に周知徹底しました。

そのほか、医療安全管理室主催の研修会を定期的実施して、職員の医療安全に関する資質の向上を図り、安心・安全な医療の提供に努めました。

（３）患者や家族の視点に立った医療の提供

イ 循環器・呼吸器病センター

患者・家族からの医療福祉相談に応じ、医療面はもとより経済的な問題等の生活面も含めた相談に対応するとともに、紹介患者の受入れ、入院患者の退院調整や他の医療機関・施設への転院調整にも適切に対応するなど、信頼・安心できる相談体制の充実に努めました。

ロ 精神医療センター

地域医療連携室を通じて、関係機関との連携強化・患者紹介の円滑化に努めました。

また、施設の修繕等を行い、快適な院内環境の整備に努めました。

ハ がんセンター

がん相談支援センターだよりやパンフレットのリニューアルなどの広報の強化を図りました。また、ハローワークと連携した就労相談を実施し、がん患者・ご家族のニーズをタイムリーに捉え、適切な情報提供と就労支援に努めました。

(4) 人材の確保と育成

イ 医師の確保と育成

(イ) 循環器・呼吸器病センター

深刻な医師不足については、特に救急医療や感染症患者に対応する循環器科、呼吸器科医師等の確保が喫緊の課題となっていました。東北大学医学部等関係機関への働きかけを強化したことにより、平成25年度末には常勤医師17人体制を構築することができました。しかし、平成26年度に入り、大崎・栗原地域の医療提供体制の再編等に伴い医師の退職が続き、常勤医師が6人（平成29年3月現在）まで減少しました。

なお、消化器科については、東北大学及びがんセンターの支援により、医師2人（非常勤）の診療体制を確保しました。

看護職員の資質向上については、認定看護管理者育成に係る研修参加を奨励し、ファーストレベル教育課程を2名が受講しました。また、新任看護職員研修プログラムによる育成のほか、クリニカルラダーとしてレベルⅠからレベルⅤまでのラダーを設定し、それぞれのレベル毎の研修により専門技術・臨床実践能力習得・習熟を図るなど、看護体制の充実に努めました。

(ロ) 精神医療センター

東北大学病院等の協力を得て、医師の確保に取り組むとともに、実習生の受け入れを通じて、看護師、医療従事者の人材確保に努めました。

(ハ) がんセンター

東北大学等と連携を図り、医療環境や業務量の変化に応じて医師の確保、配置を行うとともに、レジデントの積極的な受け入れを行いました。また、東北大学大学院との連携講座（医学系研究科がん医科学講座）においては16人の学生を受け入れ、研究・教育の強化に取り組みました。

ロ 看護師の確保と育成

看護師採用試験の応募者確保対策として、民間の就職情報サイトへの登録、県内の合同就職説明会への参加、ホームページ上に各病院の若手看護師の活躍ぶりを紹介するなど積極的に広報活動を行いました。また、県内外の看護師養成機関を訪問し、採用情報の広報及び学生の動向等の情報収集を行ったほか、機構主催での説明会及びインターンシップを開催しました。

看護師の資質向上としては、専門看護師、認定看護師の資格取得のための支援や院内外における研修会、学会への参加を積極的に推進し、看護師の資質向上を図りました。

ハ 医療従事者の確保と育成

医療従事者の人材を確保するため、就職説明会へ参加するなどして、応募者確保に努めました。また、医療環境や業務量の変化等に応じた適正な体制を維持するため、柔軟な採用を行いました。

医療従事者の資質向上としては、各種認定資格の取得や学会等の参加を奨励・支援したほか、3病院の医療従事者を中心に、様々な職種が業務発表を行う医療業務担当者合同研修会を開催し、職員の資質向上を図りました。

二 事務職員の確保と育成

事務職員の採用試験を実施し、法人事務職員を確保して計画的な採用を行いました。

また、事務職員の資質向上のため、事務部門部会を開催し、個別業務の検討等を行いました。事務職員を対象とした勉強会を定期的実施したほか、病院特有の事務や運営について精通した人材を育成するための研修プログラムとして、診療情報管理士の資格取得への支援を行いました。

ホ その他

その他、新任職員研修等を実施したほか、東北自治研修所が行う研修の受講について奨励しました。

(5) 災害等への対応

大規模な災害等が発生した場合に、必要とされる医療を迅速かつ適切に提供するため、医療機関との医薬品供給等に関する協定締結や水・食糧等の備蓄、並びに本部及び3病院の通信手段の確保に努めました。また、防災訓練を本部及び3病院で実施しました。

循環器・呼吸器病センターにおいては、消防計画に基づく防災訓練を行い、全部署において災害発生時の対応を確認するなど、防災・減災対策の周知徹底を図りました。また、大規模な災害の発生に備え、近隣の医療機関（国立療養所東北新生園）と「大規模災害時における医薬品の供給等に関する協定」を締結するなど、災害時でも医療を提供できる体制を整備しております。

(6) その他の重要な取組

イ 循環器・呼吸器病センター

地域医療の質の向上と情報の共有を図るため、地域の医療機関や介護施設等と講演会（研修会）などを開催し、地域の医療機関等とより強固な信頼関係の構築に努めると共に、平成27年度において栗原・登米圏域の医療・福祉・在宅の栄養管理連携強化を目的として作成した「とめくり食形態マップ」の運用施設は5施設増え29施設で運用をしております。

また、地域医療連携だより（機関紙「Semine」）の定期発行、地域医療機関への訪問及びアンケート等を実施し、紹介等に必要な情報提供を推進するとともに地域の医療ニーズ等の把握に努め、連携を強化することによって、紹介・逆紹介の促進を図りました。

さらに、急性期から回復期・維持期へと切れ目のない結核医療を提供できるよう、地域連携クリティカルパス（平成24年度導入）の運用を行い、保健所等関係機関との連携に努めました。

ロ 精神医療センター

築後30年以上を経過し、施設の老朽化及び狭隘化が著しく必要な医

療の提供に支障が生じていることから、新病院の早期建設に向け、本部と連携し取り組んだ。

ハ らんセンター

良質な医療の提供や医療水準の維持向上、研究環境の整備を図るため、高精度放射線治療システム等の医療機器・研究機器の計画的な導入・更新を行いました。

施設に関しては、平成27年度に策定した宮城県立がんセンター中長期保全計画書に基づき、外壁タイル張修繕工事等の保全工事を実施しました。

3 平成28年度の経営状況

(1) 循環器・呼吸器病センター

入院について、入院収益は568,136千円となり、当初予算と比較し173,912千円の減となりました。これは、常勤医師の減少及び病院機能移転報道の影響による患者数の減少により年間延入院患者数が5,555人の減となったことによるものです。この結果、病床稼働率は、当初予算と比較し13.9ポイントの減となっております。

外来についても、入院収益と同様の理由により、外来収益は280,535千円となり、当初予算と比較し46,791千円の減となりました。

なお、営業費用については、当初予算と比較すると197,606千円の減となりました。これは、薬品費のベンチマーク分析や診療材料費のABC管理により購入単価を低減し材料費の節減に努めたもののほか、入院外来患者減少に伴う材料費及び給食費等の委託費の減少、職員数の減に伴う給与費の減少等によるものです。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業損失は474,992千円、これに支払利息などの営業外費用を加えた当年度純損失は478,158千円となり、当初予算と比較すると、24,183千円の未達となりました。

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】循環器・呼吸器病センター (単位:千円)

科 目	H28予算(ア)	H28決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	1,945,025	1,725,091	△ 219,934	△ 11.3%
1 医療収益	1,077,086	856,021	△ 221,065	△ 20.5%
(1)入院収益	742,048	568,136	△ 173,912	△ 23.4%
(2)外来収益	327,326	280,535	△ 46,791	△ 14.3%
(3)その他医療収益	7,712	7,350	△ 362	△ 4.7%
2 運営費負担金収益	799,331	800,462	1,131	0.1%
3 資産見返運営費負担金戻入	56,436	56,436	0	0.0%
4 その他	12,172	12,173	1	0.0%
II 営業費用(B)	2,397,689	2,200,083	△ 197,606	△ 8.2%
1 医療費用	2,365,331	2,171,660	△ 193,671	△ 8.2%
(1)給与費	1,261,415	1,143,951	△ 117,464	△ 9.3%
(2)材料費	229,049	203,858	△ 25,191	△ 11.0%
(3)経費	603,145	559,120	△ 44,025	△ 7.3%
(4)減価償却費	256,333	253,610	△ 2,723	△ 1.1%
(5)研究研修費	15,389	11,121	△ 4,268	△ 27.7%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	32,358	28,424	△ 3,934	△ 12.2%
営業損(△)益	△ 452,664	△ 474,992	△ 22,328	△ 4.9%
III 営業外収益(D)	14,753	14,274	△ 479	△ 3.2%
1 運営費負担金収益	10,811	10,811	0	0.0%
2 その他	3,942	3,463	△ 479	△ 12.2%
IV 営業外費用(E)	16,063	15,057	△ 1,006	△ 6.3%
(1)財務費用(支払利息)	15,982	13,174	△ 2,808	△ 17.6%
(2)その他	81	1,883	1,802	2224.9%
経常損(△)益	△ 453,974	△ 475,775	△ 21,801	△ 4.8%
III 臨時利益(G)	0	89	89	0.0%
VI 臨時損失(H)	1	2,472	2,471	247091.4%
当年度純損(△)益	△ 453,975	△ 478,158	△ 24,183	△ 5.3%
目的積立金取崩額	7,500	0	△ 7,500	△ 100.0%
当年度総損(△)益	△ 446,475	△ 478,158	△ 31,683	△ 7.1%
積立金	0	△ 1,835,008	△ 1,835,008	0.0%
利益剰余金	△ 446,475	△ 2,313,166	△ 1,866,691	△ 418.1%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	94,300	37,500	△ 56,800	△ 60.2%
(1)長期借入金	94,300	37,500	△ 56,800	△ 60.2%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	214,667	154,894	△ 59,773	△ 27.8%
(1)建設改良費	108,219	48,447	△ 59,772	△ 55.2%
(2)償還金	106,448	106,447	△ 1	0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 120,367	△ 117,394	2,973	2.5%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 診療実績調(税込)

平成29年3月31日現在

区 分		H28 決算(7)	H28 当初 予算(1)	中期計画	H27 決算	当初予算 対比ア-イ	当初予算 対比
入 院	年間入院患者延数(人)	13,425	18,980	20,427	18,253	△5,555	70.7%
	金 額 (千円)	568,136	742,048	841,396	726,808	△173,912	76.6%
	患者一人当たりの診療収入	42,319 円	39,096 円	41,189 円	39,819 円	3,223 円	108.2%
	平均在院日数(日)		—	—	17.1		
	病床稼働率(%)	33.4%	47.2%	50.8%	45.3%		70.7%
外 来	年間外来患者延数(人)	19,255	21,627	23,604	21,059	△2,372	89.0%
	金 額(千円)	280,535	327,326	429,396	317,848	△46,791	85.7%
	患者一人当たりの診療収入	14,569 円	15,135 円	18,191 円	15,093 円	△566	96.3%
	平均通院日数(日)	9.2	—	—	9.3		
計	延べ患者数(人)	32,680	40,607	44,031	39,312	△7,927	80.5%
	金 額(千円)	848,669	1,069,374	1,269,792	1,044,656	△220,705	79.4%

※許可病床 140 床、稼働病床 110 床

- ・入院診療日数 28年度 365日 27年度 366日
- ・外来診療日数 28年度 243日 27年度 243日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年延病床数(稼働病床110床×暦日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

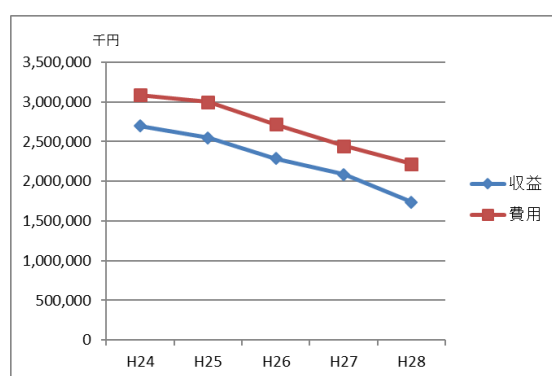
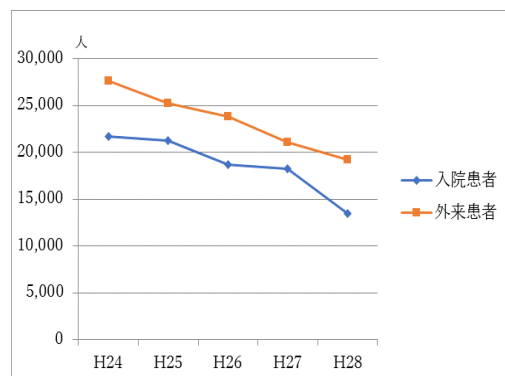
図表3 予算額に対する比較表(税込み)

(単位:千円)

	H28決算 (A)	H28当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H28補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H27決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,315,639	△ 1,288,245	△ 27,394	△ 2.1%	△ 1,350,995	35,356	2.6%	△ 1,348,264	32,625	2.4%
営業損益	△ 474,992	△ 452,664	△ 22,328	△ 4.9%	△ 510,900	35,908	7.0%	△ 359,072	△ 115,920	△ 32.3%
経常損益	△ 475,775	△ 453,974	△ 21,801	△ 4.8%	△ 510,083	34,308	6.7%	△ 358,575	△ 117,200	△ 32.7%
純損益	△ 478,158	△ 453,975	△ 24,183	△ 5.3%	△ 512,568	34,410	6.7%	△ 357,765	△ 120,393	△ 33.7%
目的積立金 取崩額	0	7,500	△ 7,500	△ 100.0%	7,500	△ 7,500	△ 100.0%	0	0	#DIV/0!
総損益	△ 478,158	△ 446,475	△ 31,683	△ 7.1%	△ 505,068	26,910	5.3%	△ 357,765	△ 120,393	△ 33.7%

図表4 収益・費用の推移

図表5 患者数の推移



(2) 精神医療センター

入院について、入院収益は1,593,524千円となり、当初予算と比較し、136,652千円の減となりました。これは、一般病棟で長期入院患者の地域移行を進めていることや、3ヶ月以内の再入院防止に取り組んでいることにより入院患者数が減少したことによるものです。

スーパー救急病棟では、年度の後半よりスーパー不適患者が増加し、個室・隔離室が不足したことで、スーパー適患者の割合が減少したことや、児童思春期病棟において見込患者数を確保できなかったことによるものです。

外来について、外来収益は、277,856千円となり、当初予算と比較し19,919千円の減となりました。これは、患者の地域移行を進めていることに加えて、増加した救急患者が、県内広範囲に広がったことにより、退院後の外来通院やデイケア通所につながりにくく、外来患者数が減少したことによるものです。

営業費用については、2,700,712千円となり、当初予算と比較し、19,069千円の減となりました。これは、給与費が42,160千円増加したものの、材料費が11,266千円減少、経費が44,592千円減少したことによるものです。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業利益は195,417千円、これに支払利息などの営業外費用等を加えた当年度純利益は211,710千円と、当初予算と比較すると146,829千円の未達となりました。

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】精神医療センター (単位:千円)

科 目	H28予算(ア)	H28決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	3,073,641	2,896,129	△ 177,512	△ 5.8%
1 医業収益	2,123,924	1,965,255	△ 158,669	△ 7.5%
(1)入院収益	1,730,176	1,593,524	△ 136,652	△ 7.9%
(2)外来収益	297,775	277,856	△ 19,919	△ 6.7%
(3)その他医業収益	95,973	93,875	△ 2,098	△ 2.2%
2 運営費負担金収益	912,673	893,780	△ 18,893	△ 2.1%
3 資産見返運営費負担金戻入	29,115	29,115	0	0.0%
4 その他	7,929	7,979	50	0.6%
II 営業費用(B)	2,719,781	2,700,712	△ 19,069	△ 0.7%
1 医業費用	2,692,727	2,679,211	△ 13,516	△ 0.5%
(1)給与費	1,881,688	1,923,848	42,160	2.2%
(2)材料費	150,088	138,822	△ 11,266	△ 7.5%
(3)経費	508,498	463,906	△ 44,592	△ 8.8%
(4)減価償却費	136,495	135,532	△ 963	△ 0.7%
(5)研究研修費	15,958	17,103	1,145	7.2%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	27,054	21,501	△ 5,553	△ 20.5%
営業損(△)益	353,860	195,417	△ 158,443	△ 44.8%
III 営業外収益(D)	19,164	26,083	6,919	36.1%
1 運営費負担金収益	8,358	8,360	2	0.0%
2 その他	10,806	17,723	6,917	64.0%
IV 営業外費用(E)	14,484	13,366	△ 1,118	△ 7.7%
(1)財務費用(支払利息)	13,968	10,901	△ 3,067	△ 22.0%
(2)その他	516	2,465	1,949	377.7%
経常損(△)益	358,540	208,135	△ 150,405	△ 41.9%
V 臨時利益(G)	0	5,138	5,138	0.0%
VI 臨時損失(H)	1	1,562	1,561	156135.7%
当年度純損(△)益	358,539	211,710	△ 146,829	△ 41.0%
目的積立金取崩額	5,028	0	△ 5,028	△ 100.0%
当年度総損(△)益	363,567	211,710	△ 151,857	△ 41.8%
積立金	0	585,573	585,573	0.0%
利益剰余金	363,567	797,283	433,716	119.3%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	367,100	13,900	△ 353,200	△ 96.2%
(1)長期借入金	367,100	13,900	△ 353,200	△ 96.2%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	578,393	70,367	△ 508,026	△ 87.8%
(1)建設改良費	532,282	24,258	△ 508,024	△ 95.4%
(2)償還金	46,111	46,110	△ 1	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 211,293	△ 56,467	154,826	73.3%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 診療実績調 (税込)

平成 29 年 3 月 31 日現在

区 分	H28 決算 (7)	H28 当初 予算 (1)	中期計画	H27 決算	当初予算 対比 アーイ	当初予算 対比
入 院	年間入院患者延数 (人)	71,565	77,015	83,220	73,918	△ 5,450 92.92%
	金 額 (千 円)	1,593,524	1,730,176	1,784,869	1,555,201	△ 136,652 92.10%
	患者一人当たりの診療収入	22,267 円	22,465 円	21,448 円	21,040 円	△ 198 円 99.12%
	平均在院日数 (日)	131.4	—	132.0	134.8	
	病床稼働率 (%)	76.30%	81.80%	88.70%	76.00%	93.3%
外 来	年間外来患者延数 (人)	35,277	37,787	35,367	36,086	△ 2,510 93.36%
	金 額 (千 円)	277,855	297,775	284,687	277,405	△ 19,919 93.31%
	患者一人当たりの診療収入	7,876	7,880	8,050	7,687	△ 4 99.95%
	平均通院日数 (日)	52.9	—	—	61	
計	延べ患者数 (人)	106,842	114,802	118,587	110,004	△ 7,960 93.1%
	金 額 (千 円)	1,871,379	2,027,951	2,069,556	1,832,608	△ 156,571 92.3%

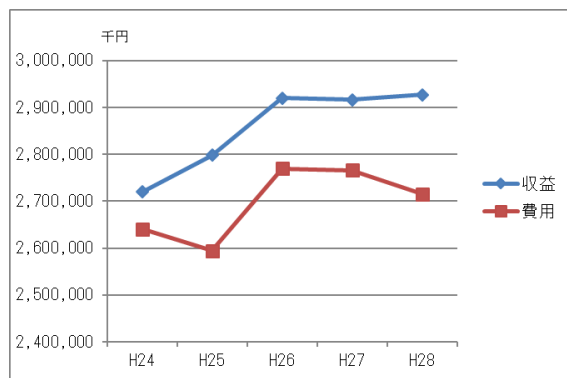
- ・ 入院診療日数 28年度 365日 27年度 366日
- ・ 外来診療日数 28年度 243日 27年度 243日
- ・ 病床稼働率 年間入院患者延数÷年延病床数
(年延病床数 = 許可病床数 271 床×214 日+同 258 床×152 日) × 100
- ・ 入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・ 外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表 (税込)

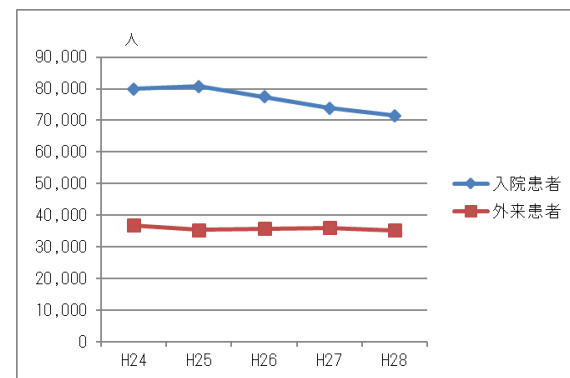
(単位: 千円)

	H28決算 (A)	H28当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H28補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H27決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 713,956	△ 568,803	△ 145,153	△ 25.5%	△ 716,756	2,800	0.4%	△ 737,267	23,311	0.0
営業損益	195,417	353,860	△ 158,443	△ 44.8%	190,351	5,066	2.7%	164,291	31,126	0.2
経常損益	208,135	358,539	△ 150,404	△ 41.9%	205,163	2,972	1.4%	172,434	35,701	0.2
純損益	211,710	358,539	△ 146,829	△ 41.0%	209,592	2,118	1.0%	175,665	36,044	0.2
目的積立金 取崩額	0	5,028	△ 5,028	0.0%	4,978	△ 4,978	△ 100.0%	0	0	0.0%
総損益	211,710	363,567	△ 151,857	△ 41.8%	214,570	△ 2,860	-1.3%	175,665	36,044	0.2

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移



(3) がんセンター

入院について、入院収益は、5,334,130千円となり、当初予算と比較し650,514千円の減となりました。平成28年度は、新規入院患者が増えたことや、栄養指導加算の増、さらには病棟薬剤業務実施加算を新たに取得するなど増収対策を講じた結果、対前年度比では収益増となったものの、当初予算編成時に最大値で想定していた高額薬剤の使用が大幅に下回ったことから、当初予算との乖離が大きくなったほか、看護基準の改正による減収などが影響しているものです。

外来について、外来収益は、3,422,782千円となり、当初予算と比較して279,682千円

の減となりました。これは、化学療法や放射線治療を主とする集学治療の推進などで増収対策を講じた結果、対前年度比では収益増となったものの、当初予算編成時に最大値で想定していた高額薬剤の使用が大幅に下回ったことなどから、当初予算との乖離が大きくなったものです。

営業費用については、当初予算と比較すると750,220千円の減となりました。これは、高額薬剤の使用が見込を下回ったことや、ベンチマークを基にした薬品の価格交渉、診療材料の徹底した在庫管理、新規で診療材料を採用する際の審査強化など、徹底した縮減策を講じたことにより材料費が大幅減となったほか、給食業務に係る委託料等の減や、建物の修繕が想定量を下回ったことなどにより修繕費が減となったものです。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業利益は162,676千円、これに支払利息等の営業外費用を加えた当年度純利益は134,428千円となり、当初予算と比較すると180,484千円の未達となりました。

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】 がんセンター

(単位:千円)

科 目	H28予算(ア)	H28決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	12,066,448	11,129,381	△ 937,067	△ 7.8%
1 医療収益	9,925,487	8,987,942	△ 937,545	△ 9.4%
(1)入院収益	5,984,644	5,334,130	△ 650,514	△ 10.9%
(2)外来収益	3,702,464	3,422,782	△ 279,682	△ 7.6%
(3)その他医療収益	238,379	231,030	△ 7,349	△ 3.1%
2 運営費負担金収益	1,395,955	1,396,782	827	0.1%
3 資産見返運営費負担金戻入	698,435	698,435	0	0.0%
4 その他	46,571	46,222	△ 349	△ 0.7%
II 営業費用(B)	11,716,926	10,966,706	△ 750,220	△ 6.4%
1 医療費用	11,345,213	10,641,263	△ 703,950	△ 6.2%
(1)給与費	4,796,244	4,715,114	△ 81,130	△ 1.7%
(2)材料費	3,809,361	3,351,055	△ 458,306	△ 12.0%
(3)経費	1,607,046	1,498,360	△ 108,686	△ 6.8%
(4)減価償却費	955,345	946,336	△ 9,009	△ 0.9%
(5)研究研修費	177,217	130,398	△ 46,819	△ 26.4%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	371,713	325,443	△ 46,270	△ 12.4%
営業損(△)益	349,522	162,676	△ 186,846	△ 53.5%
III 営業外収益(D)	162,482	166,375	3,893	2.4%
1 運営費負担金収益	97,016	97,016	0	0.0%
2 その他	65,466	69,359	3,893	5.9%
IV 営業外費用(E)	197,091	194,983	△ 2,108	△ 1.1%
(1)財務費用(支払利息)	149,409	146,077	△ 3,332	△ 2.2%
(2)その他	47,682	48,906	1,224	2.6%
経常損(△)益	314,913	134,428	△ 180,484	△ 57.4%
III 臨時利益(G)	0	361	361	0.0%
VI 臨時損失(H)	1	0	△ 1	△ 95.2%
当年度純損(△)益	314,912	134,428	△ 180,484	△ 57.3%
目的積立金取崩額	20,000	0	△ 20,000	△ 100.0%
当年度総損(△)益	334,912	134,428	△ 200,484	△ 59.9%
積立金	0	1,950,178	1,950,178	0.0%
利益剰余金	334,912	2,084,606	1,749,694	522.4%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	1,690,300	1,096,300	△ 594,000	△ 35.1%
(1)長期借入金	1,690,300	1,096,300	△ 594,000	△ 35.1%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	2,805,577	2,202,925	△ 602,652	△ 21.5%
(1)建設改良費	1,785,106	1,182,455	△ 602,651	△ 33.8%
(2)償還金	1,020,471	1,020,470	△ 1	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,115,277	△ 1,106,625	8,652	0.8%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 診療実績調 (税込)

平成29年3月31日現在

区 分		H28決算(ア)	H28当初 予算(イ)	中期計画	H27決算	当初予算対比 (ア)-(イ)	当初予算対比
入 院	年間入院患者延数(人)	101,307	108,989	112,603	101,618	△ 7,682	93.0%
	金 額(千円)	5,334,130	5,984,644	5,714,479	5,254,709	△ 650,514	89.1%
	患者一人当たりの診療収入	52,653円	54,911円	50,749円	51,710円	△ 2,258円	95.9%
	平均在院日数(日)	17.4	—	—	18.4		
	病床稼働率	72.5%	78.0%	80.5%	72.5%		92.9%
外 来	年間外来患者延数(人)	82,648	83,130	81,715	80,186	△ 482	99.4%
	金 額(千円)	3,422,782	3,702,464	2,397,512	2,904,471	△ 279,682	92.4%
	患者一人当たりの診療収入	41,414円	44,539円	29,340円	36,222円	△ 3,125円	93.0%
	平均通院日数(日)	14.7	—	—	13.5		
計	延べ患者数(人)	183,955	192,119	194,318	181,804	△ 8,164	95.75%
	金 額(千円)	8,756,912	9,687,108	8,111,991	8,159,180	△ 930,196	90.40%

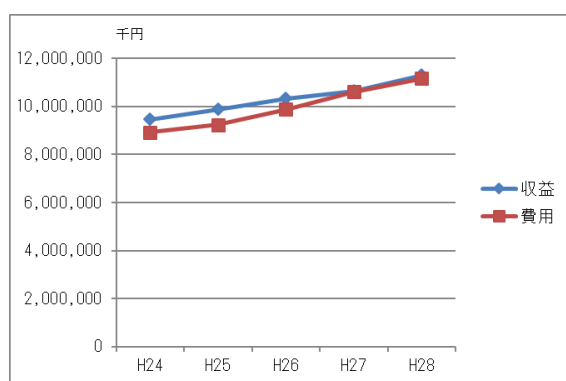
- ・入院診療日数 28年度 365日 27年度 366日
- ・外来診療日数 28年度 243日 27年度 243日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年間延病床数(許可病床383床×歴日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表 2 診療実績調 (税込)

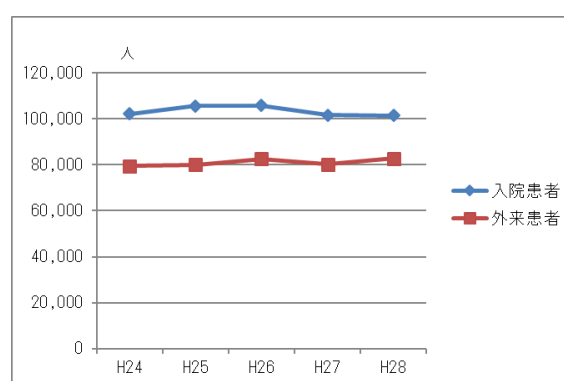
(単位:千円)

	H28決算 (A)	H28当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H28補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H27決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,653,321	△ 1,419,726	△ 233,595	△ 16.5%	△ 1,656,968	3,647	0.0	△ 1,732,756	79,435	0.0
営業損益	162,676	349,522	△ 186,846	△ 53.5%	152,204	10,472	0.1	39,878	122,797	3.1
経常損益	134,067	314,913	△ 180,846	△ 57.4%	125,028	9,039	0.1	20,162	113,906	5.6
純損益	134,428	314,912	△ 180,484	△ 57.3%	122,889	11,539	0.1	25,821	108,607	4.2
目的積立金 取崩額	0	20,000	△ 20,000	△ 100.0%	20,000	△ 20,000	△ 100.0%	0	0	0.0
総損益	134,428	334,912	△ 200,484	△ 59.9%	142,889	△ 8,461	△ 5.9%	25,821	108,607	4.2

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移



(4) 本部事務局

営業収益については、
10,107 千円となり、当初予算と比較し 375 千円の増となりました。これは、認定看護師課程派遣助成金の受入れなどによるものです。

営業費用については、
176,238 千円となり、当初予算と比較すると
43,278 千円の減となりました。これは、職員数が 2 名減少したこと等による給与費の減、精神医療センター建替関係調査費の執行残等によるものです。

この結果、営業損失は
168,821 千円、これに営業外収益等を加えた当年度純損失は 168,702 千円となり、当初予算と比較すると、損失額で 70,911 千円の改善となりました。

図表1【決算報告書(予算対比, 税込)】本部事務局 (単位:千円)

科 目	H28予算(ア)	H28決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	9,732	10,107	375	3.9%
1 医業収益	0	0	0	0.0%
(1)入院収益	0	0	0	0.0%
(2)外来収益	0	0	0	0.0%
(3)その他医業収益	0	0	0	0.0%
2 運営費負担金収益	8,622	8,622	0	0.0%
3 資産見返運営費負担金戻入	0	0	0	0.0%
4 その他	1,110	1,485	375	33.8%
II 営業費用(B)	219,516	176,238	△ 43,278	△ 19.7%
1 医業費用	8,630	1,193	△ 7,437	△ 86.2%
(1)給与費	0	0	0	0.0%
(2)材料費	0	0	0	0.0%
(3)経費	0	0	0	0.0%
(4)減価償却費	0	0	0	0.0%
(5)研究研修費	8,630	1,193	△ 7,437	△ 86.2%
2 一般管理費	210,431	174,615	△ 35,816	△ 17.0%
3 その他	455	430	△ 25	△ 5.5%
営業損(△)益	△ 209,784	△ 166,132	43,652	20.8%
III 営業外収益(D)	171	19	△ 152	△ 89.0%
1 運営費負担金収益	0	0	0	0.0%
2 その他	171	19	△ 152	△ 89.0%
IV 営業外費用(E)	30,000	2,708	△ 27,292	△ 91.0%
(1)財務費用(支払利息)	62	61	△ 1	△ 1.0%
(2)その他	29,938	2,647	△ 27,291	△ 91.2%
経常損(△)益	△ 239,613	△ 168,821	70,792	29.5%
III 臨時利益(G)	0	119	119	0.0%
VI 臨時損失(H)	0	0	0	0.0%
当年度純損(△)益	△ 239,613	△ 168,702	70,911	29.6%
目的積立金取崩額	1,000	0	△ 1,000	△ 100.0%
当年度総損(△)益	△ 238,613	△ 168,702	69,911	29.3%
積立金	0	△ 853,159	△ 853,159	0.0%
利益剰余金	△ 238,613	△ 1,021,861	△ 783,248	△ 328.3%

【資本収支表】

I 資本収入(a)	0	0	0	0.0%
(1)長期借入金	0	0	0	0.0%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	0	0	0	0.0%
(1)建設改良費	0	0	0	0.0%
(2)償還金	0	0	0	0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	0	0	0	0.0%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 予算額に対する比較表 (税込) (単位:千円)

	H28決算 (A)	H28当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H28補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H27決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,193	△ 8,630	7,437	86.2%	△ 6,502	5,309	81.6%	△ 1,708	515	30.1%
営業損益	△ 166,132	△ 209,784	43,652	20.8%	△ 173,916	7,784	4.5%	△ 176,243	10,111	5.7%
経常損益	△ 168,821	△ 239,613	70,792	29.5%	△ 206,916	38,095	18.4%	△ 176,232	7,411	4.2%
純損益	△ 168,702	△ 239,613	70,911	29.6%	△ 206,840	38,138	18.4%	△ 176,043	7,341	4.2%
目的積立金 取崩額	0	1,000	△ 1,000	△ 100.0%	1,000	△ 1,000	△ 100.0%	0	0	0.0%
総損益	△ 168,702	△ 238,613	69,911	29.3%	△ 205,840	37,138	18.0%	△ 176,043	7,341	4.2%

(5) 機構全体

医業収益については、11,809,217千円となり、当初予算と比較し1,317,280千円の減となりました。これは、がんセンターにおいて、当初予算編成時に最大値で想定していた高額薬剤の使用が大幅に下回ったこと、3病院ともに、当初予算で定めた目標と比較して入院患者数が未達となったことによるものです。

医業費用については、15,493,326千円となり、当初予算と比較し918,575千円の減となりました。これは、材料費において、がんセンターの高額薬剤の使用が見込を下回ったこと等により当初予算比494,763千円の減となったことが主な要因です。

営業外収益については、206,751千円となり、当初予算と比較し10,181千円の増となりました。また、営業外費用については、226,114千円となり、当初予算と比較し31,524千円の減となりました。

この結果、運営費負担金等の収益額を含めた営業損失は283,031千円、これに営業外収益等を加えた当年度純損失は300,722千円で、当初予算と比較すると280,585千円の未達となりました。

なお、資本的収支は、精神医療センターの建替業務の着工延期、がんセンターの大規模修繕次年度繰り越しなどにより、資本収入が1,004,000千円減少し1,147,700千円、資本支出が1,170,451千円減少し2,428,186千円となりました。

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】宮城県立病院機構全体 (単位:千円)

科 目	H28予算(ア)	H28決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	17,094,846	15,760,708	△ 1,334,138	△ 7.8%
1 医業収益	13,126,497	11,809,217	△ 1,317,280	△ 10.0%
(1)入院収益	8,456,868	7,495,790	△ 961,078	△ 11.4%
(2)外来収益	4,327,565	3,981,172	△ 346,393	△ 8.0%
(3)その他医業収益	342,064	332,255	△ 9,809	△ 2.9%
2 運営費負担金収益	3,116,581	3,099,646	△ 16,935	△ 0.5%
3 資産見返運営費負担金戻入	783,986	783,986	0	0.0%
4 その他	67,782	67,858	76	0.1%
II 営業費用(B)	17,053,912	16,043,739	△ 1,010,173	△ 5.9%
1 医業費用	16,411,901	15,493,326	△ 918,575	△ 5.6%
(1)給与費	7,939,347	7,782,912	△ 156,435	△ 2.0%
(2)材料費	4,188,498	3,693,735	△ 494,763	△ 11.8%
(3)経費	2,718,689	2,521,385	△ 197,304	△ 7.3%
(4)減価償却費	1,348,173	1,335,478	△ 12,695	△ 0.9%
(5)研究研修費	217,194	159,815	△ 57,379	△ 26.4%
2 一般管理費	210,431	174,615	△ 35,816	△ 17.0%
3 その他	431,580	375,798	△ 55,782	△ 12.9%
営業損(△)益	40,934	△ 283,031	△ 323,965	△ 791.4%
III 営業外収益(D)	196,570	206,751	10,181	5.2%
1 運営費負担金収益	116,185	116,187	2	0.0%
2 その他	80,385	90,564	10,179	12.7%
IV 営業外費用(E)	257,638	226,114	△ 31,524	△ 12.2%
(1)財務費用(支払利息)	179,359	170,154	△ 9,205	△ 5.1%
(2)その他	78,279	55,960	△ 22,319	△ 28.5%
経常損(△)益	△ 20,134	△ 302,394	△ 282,260	△ 1401.9%
III 臨時利益(G)	0	5,706	5,706	0.0%
VI 臨時損失(H)	3	4,034	4,031	134377.3%
当年度純損(△)益	△ 20,137	△ 300,722	△ 280,585	△ 1393.4%
目的積立金取崩額	33,528	0	△ 33,528	△ 100.0%
当年度総損(△)益	13,391	△ 300,722	△ 314,113	△ 2345.7%
積立金	0	23,250	23,250	0.0%
利益剰余金	13,391	△ 277,473	△ 290,864	△ 2172.1%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	2,151,700	1,147,700	△ 1,004,000	△ 46.7%
(1)長期借入金	2,151,700	1,147,700	△ 1,004,000	△ 46.7%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	3,598,637	2,428,186	△ 1,170,451	△ 32.5%
(1)建設改良費	2,425,607	1,255,159	△ 1,170,448	△ 48.3%
(2)償還金	1,173,030	1,173,027	△ 3	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,446,937	△ 1,280,486	166,451	11.5%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 診療実績調 (税込)

平成 29 年 3 月 31 日現在

区 分		H28 決算 (7)	H28 当初 予算 (1)	中期計画	H27 決算	当初予算対 比 アーイ	当初予 算対比
入 院	年間入院患者延数 (人)	186,297	204,984	216,250	193,789	△ 18,687	90.9%
	金 額 (千円)	7,495,790	8,456,868	8,340,887	7,536,720	△ 961,078	88.6%
	患者一人当たりの診療収入	40,236	41,256	38,571	38,891	△ 1,021	97.5%
外 来	年間外来患者延数 (人)	137,180	142,544	140,686	137,331	△ 5,364	96.2%
	金 額 (千円)	3,981,172	4,327,565	3,111,595	3,499,724	△ 346,393	92.0%
	患者一人当たりの診療収入	29,022	30,360	22,117	25,483	△ 1,338	95.6%
計	延べ患者数 (人)	323,477	347,528	356,936	331,120	△ 24,051	93.1%
	金 額 (千円)	11,476,962	12,784,433	11,452,482	11,036,444	△ 1,307,471	89.8%

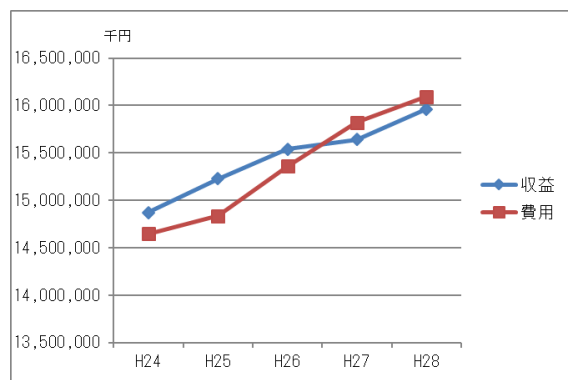
- ・入院診療日数 28 年度 365 日 27 年度 366 日
- ・外来診療日数 28 年度 243 日 27 年度 243 日
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表 (税込)

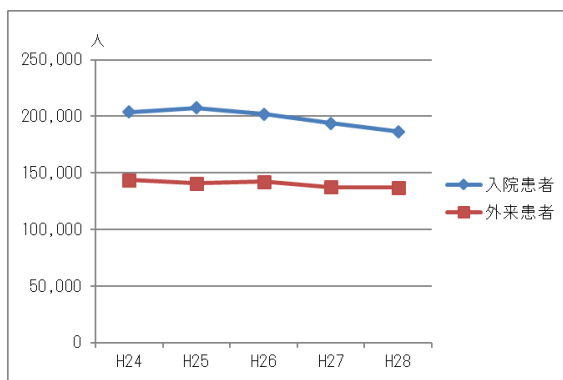
(単位: 千円)

	H28決算 (A)	H28当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H28補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H27決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 3,684,109	△ 3,285,404	△ 398,705	△ 12.1%	△ 3,731,221	47,112	1.3%	△ 3,784,168	100,059	2.6%
営業損益	△ 283,031	40,934	△ 323,965	△ 791.4%	△ 342,261	59,230	17.3%	△ 331,023	47,992	14.5%
経常損益	△ 302,394	△ 20,134	△ 282,260	△ 1401.9%	△ 386,808	84,414	21.8%	△ 342,210	39,816	11.6%
純損益	△ 300,722	△ 20,137	△ 280,585	△ 1393.4%	△ 386,927	86,205	22.3%	△ 332,321	31,599	9.5%
目的積立金 取崩額	0	33,528	△ 33,528	△ 100.0%	33,478	△ 33,478	△ 100.0%	0	0	-
総損益	△ 300,722	13,391	△ 314,113	△ 2345.7%	△ 353,449	52,727	14.9%	△ 332,321	31,599	9.5%

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移





参 考 資 料

(病院別貸借対照表・損益計算書)

貸借対照表
(平成29年3月31日)

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	479,100,000	
建物	1,952,149,000	
建物減価償却累計額	796,303,006	1,155,845,994
構築物	76,714,561	
構築物減価償却累計額	40,675,773	36,038,788
器械備品	1,125,690,943	
器械備品減価償却累計額	877,070,289	248,620,654
車輛	110,250	
車輛減価償却累計額	110,249	1
その他有形固定資産	3,850,000	
他有形固定資産減価償却累計額	0	3,850,000
有形固定資産合計	1,923,455,437	
2 無形固定資産		
ソフトウェア	34,506,213	
電話加入権	598,900	
無形固定資産合計	35,105,113	
3 投資その他の資産		
長期前払消費税	36,146,444	
投資その他の資産合計	36,146,444	
固定資産合計		1,994,706,994
II 流 動 資 産		
現金及び預金	374,900	
医業未収金	117,710,893	
貸倒引当金	△ 2,641,029	115,069,864
未収金	12,187,096	
貸倒引当金	△ 1,712,254	10,474,842
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	12,799,168	
診療材料	7,163,947	
その他貯蔵品	631,056	20,594,171
その他流動資産	1,529,041	
流動資産合計		148,042,818
資産合計		2,142,749,812

貸借対照表
(平成29年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	8,001,128	
資産見返物品受贈額	<u>3,850,002</u>	11,851,130
長期借入金		217,475,902
移行前地方債償還債務		542,005,000
引当金		
退職給付引当金		1,076,472,439
長期リース債務		36,152,568
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>2,467,566,650</u>	
固定負債合計		4,351,523,689
II 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		25,059,936
1年以内返済予定長期借入金		82,123,284
医業未払金		124,725,663
未払金		12,350,706
1年以内支払予定リース債務		11,518,848
未払消費税等		15,273
預り金		8,299,672
引当金		
賞与引当金	<u>60,230,398</u>	
流動負債合計		<u>324,323,780</u>
負債合計		4,675,847,469
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	<u>△ 219,931,405</u>	
資本金合計		△ 219,931,405
II 繰越欠損金		
積立金	△ 1,835,007,957	
当期末処理損失	<u>△ 478,158,295</u>	
(うち当期総損失)	(△ 478,158,295)	
繰越欠損金合計		<u>△ 2,313,166,252</u>
純資産合計		<u>△ 2,533,097,657</u>
負債純資産合計		<u><u>2,142,749,812</u></u>

損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	568,054,077	
外来収益	280,445,661	
その他医業収益	6,887,753	855,387,491
運営費負担金収益		800,461,803
資産見返運営費負担金戻入		56,436,000
資産見返補助金等戻入		12,172,504
営業収益合計		1,724,457,798
営業費用		
医業費用		
給与費	1,142,101,338	
材料費	203,858,042	
経費	527,463,429	
減価償却費	253,610,194	
研究研修費	10,319,989	2,137,352,992
取得資産に係る控除対象外消費税償却		10,395,613
控除対象外消費税(消費税損失)		51,605,149
営業費用合計		2,199,353,754
営業利益		△ 474,895,956
営業外収益		
運営費負担金収益		10,811,000
その他営業外収益		3,363,902
営業外収益合計		14,174,902
営業外費用		
財務費用		13,173,988
その他営業外費用		1,880,089
営業外費用合計		15,054,077
経常利益		△ 475,775,131
臨時利益		
貸倒引当金戻入益		88,750
臨時利益合計		88,750
臨時損失		
固定資産除却損		14
その他臨時損失		2,471,900
臨時損失合計		2,471,914
当期純損失		△ 478,158,295
目的積立金取崩額		0
当期総損失		△ 478,158,295

貸借対照表
(平成29年3月31日)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	712,910,000	
建物	1,498,970,000	
建物減価償却累計額	684,767,892	814,202,108
構築物	76,828,923	
構築物減価償却累計額	37,520,669	39,308,254
器械備品	242,457,297	
器械備品減価償却累計額	168,561,699	73,895,598
車輛	3,172,330	
車輛減価償却累計額	2,539,602	632,728
建設仮勘定		324,650,825
有形固定資産合計		1,965,599,513
2 無形固定資産		
ソフトウェア	17,400,900	
電話加入権	326,500	
無形固定資産合計		17,727,400
3 投資その他の資産		
長期前払消費税	37,890,710	
投資その他の資産合計	37,890,710	
固定資産合計		2,021,217,623
II 流 動 資 産		
現金及び預金	384,952	
医業未収金	339,748,303	
貸倒引当金	△ 18,651,035	321,097,268
未収金	3,615,992	
貸倒引当金	△ 1,999,500	1,616,492
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	7,692,716	
診療材料	2,420,813	
その他貯蔵品	869,960	10,983,489
その他流動資産	63,955,773	
流動資産合計		398,037,974
資産合計		2,419,255,597

貸借対照表
(平成29年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
Ⅰ 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	73,517,596	
資産見返物品受贈額	<u>1</u>	73,517,597
長期借入金		326,814,673
移行前地方債償還債務		502,211,880
引当金		
退職給付引当金		1,385,955,160
長期リース債務		15,474,240
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 1,346,622,246</u>	
固定負債合計		957,351,304
Ⅱ 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		37,680,472
1年以内返済予定長期借入金		6,536,551
医業未払金		79,995,949
未払金		11,895,592
1年以内支払予定リース債務		6,189,696
未払消費税等		160,158
預り金		12,517,859
引当金		
賞与引当金	<u>101,638,142</u>	
流動負債合計		<u>256,614,419</u>
負債合計		1,213,965,723
純資産の部		
Ⅰ 資本金		
設立団体出資金	<u>232,341,583</u>	
資本金合計		232,341,583
Ⅱ 利益剰余金		
積立金		761,238,566
当期末処分利益	<u>211,709,725</u>	
(うち当期総利益)	(211,709,725)	
利益剰余金合計		<u>972,948,291</u>
純資産合計		<u>1,205,289,874</u>
負債純資産合計		<u>2,419,255,597</u>

損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	1,593,523,396	
外来収益	277,838,852	
その他医業収益	86,926,284	1,958,288,532
運営費負担金収益		893,780,199
資産見返運営費負担金戻入		29,115,000
補助金等収益		150,000
寄附金収益		50,000
資産見返補助金等戻入		7,779,075
営業収益合計		2,889,162,806
営業費用		
医業費用		
給与費	1,922,130,924	
材料費	138,822,096	
経費	434,392,547	
減価償却費	135,532,193	
研究研修費	15,848,770	2,646,726,530
取得資産に係る控除対象外消費税償却		3,665,587
控除対象外消費税(消費税損失)		42,677,973
営業費用合計		2,693,070,090
営業利益		196,092,716
営業外収益		
運営費負担金収益	8,360,000	
財務収益	155,300	
その他営業外収益	16,866,680	
営業外収益合計		25,381,980
営業外費用		
財務費用	10,902,959	
その他営業外費用	2,437,162	
営業外費用合計		13,340,121
経常利益		208,134,575
臨時利益		
貸倒引当金戻入益	5,137,507	
臨時利益合計		5,137,507
臨時損失		
固定資産除却損	42,005	
その他臨時損失	1,520,352	
臨時損失合計		1,562,357
当期純利益		211,709,725
目的積立金取崩額		0
当期総利益		211,709,725

貸借対照表
(平成29年3月31日)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	590,680,000	
建物	7,230,819,000	
建物減価償却累計額	1,818,046,104	5,412,772,896
構築物	98,411,804	
構築物減価償却累計額	33,065,394	65,346,410
器械備品	4,504,067,628	
器械備品減価償却累計額	2,780,614,179	1,723,453,449
車輛	228,375	
車輛減価償却累計額	228,372	3
建設仮勘定		26,200,000
有形固定資産合計		7,818,452,758
2 無形固定資産		
ソフトウェア	262,359,047	
電話加入権	251,500	
その他無形固定資産	2,078,417	
無形固定資産合計		264,688,964
3 投資その他の資産		
長期前払消費税	193,615,261	
投資その他の資産合計	193,615,261	
固定資産合計		8,276,756,983
II 流 動 資 産		
現金及び預金	2,756,304	
医業未収金	1,401,297,605	
貸倒引当金	△ 6,934,838	1,394,362,767
未収金		26,755,786
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	64,109,810	
診療材料	40,092,729	
その他貯蔵品	1,739,871	105,942,410
その他流動資産	17,946,593	
流動資産合計		1,547,763,860
資産合計		9,824,520,843

貸 借 対 照 表
(平成29年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負 債 の 部		
Ⅰ 固 定 負 債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	72,603,389	
資産見返寄附金	5,367,810	
資産見返物品受贈額	22,849,507	100,820,706
長期借入金		2,826,936,967
移行前地方債償還債務		3,093,096,242
引当金		
退職給付引当金		2,526,937,534
長期リース債務		66,627,534
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 2,701,405,794</u>	
固定負債合計		5,913,013,189
Ⅱ 流 動 負 債		
寄附金債務		8,753,079
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		550,256,018
1年以内返済予定長期借入金		498,863,110
医業未払金		604,408,178
未払金		679,582,117
1年以内支払予定リース債務		61,011,288
未払消費税等		531,669
預り金		52,408,666
前受金		142,583,993
引当金		
賞与引当金	<u>245,002,753</u>	
流動負債合計		<u>2,843,400,871</u>
負債合計		8,756,414,060
純 資 産 の 部		
Ⅰ 資本金		
設立団体出資金	<u>△ 1,016,499,159</u>	
資本金合計		△ 1,016,499,159
Ⅱ 利益剰余金		
積立金	1,950,177,740	
当期末処分利益	<u>134,428,202</u>	
(うち当期総利益)	(134,428,202)	
利益剰余金合計		<u>2,084,605,942</u>
純資産合計		<u>1,068,106,783</u>
負債純資産合計		<u><u>9,824,520,843</u></u>

損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	5,333,447,512	
外来収益	3,420,877,089	
その他医業収益	212,866,550	8,967,191,151
運営費負担金収益		1,396,782,309
資産見返運営費負担金戻入		698,435,000
補助金等収益		19,376,049
資産見返補助金等戻入		17,899,959
資産見返寄附金戻入		548,772
資産見返物品受贈額戻入		8,317,174
その他営業収益		80,000
営業収益合計		11,108,630,414
営業費用		
医業費用		
給与費	4,711,330,373	
材料費	3,351,055,061	
経費	1,394,041,576	
減価償却費	946,336,105	
研究研修費	123,364,287	10,526,127,402
取得資産に係る控除対象外消費税償却		38,694,345
控除対象外消費税(消費税損失)		379,806,157
営業費用合計		10,944,627,904
営業利益		164,002,510
営業外収益		
運営費負担金収益		97,016,000
寄附金収益		2,569,744
財務収益		312,195
その他営業外収益		61,781,669
営業外収益合計		161,679,608
営業外費用		
財務費用		146,077,075
その他営業外費用		45,537,633
営業外費用合計		191,614,708
経常利益		134,067,410
臨時利益		
貸倒引当金戻入益		360,840
臨時利益合計		360,840
臨時損失		
固定資産除却損		48
臨時損失合計		48
当期純利益		134,428,202
目的積立金取崩額		0
当期総利益		134,428,202

貸借対照表
(平成29年3月31日)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
器械備品	30,802,504	
器械備品減価償却累計額	27,323,590	3,478,914
車輛	1,588,380	
車輛減価償却累計額	729,465	858,915
有形固定資産合計		4,337,829
2 無形固定資産		
ソフトウェア		3,503,500
無形固定資産合計		3,503,500
3 投資その他の資産		
投資有価証券		99,990,666
長期前払消費税		74,107
投資その他資産		11,760
投資その他の資産合計		100,076,533
固定資産合計		107,917,862
II 流 動 資 産		
現金及び預金		2,080,529,499
医業未収金	1,680,056	
貸倒引当金	△ 1,680,056	0
未収金		826,704
その他流動資産		150,000
流動資産合計		2,081,506,203
資産合計		2,189,424,065

貸借対照表
(平成29年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
Ⅰ 固定負債		
資産見返負債		
資産見返物品受贈額	171,456	171,456
引当金		
退職給付引当金	20,869,146	
その他固定負債(施設間仮勘定)	1,580,461,390	
固定負債合計		1,601,501,992
Ⅱ 流動負債		
運営費負担金債務	77,275,000	
寄附金債務	1,262,032	
医業未払金	224,860,506	
未払金	118,905,642	
預り金	2,706,146	
引当金		
賞与引当金	6,331,170	
流動負債合計		431,340,496
負債合計		2,032,842,488
純資産の部		
Ⅰ 資本金		
設立団体出資金	1,178,442,089	
資本金合計		1,178,442,089
Ⅱ 繰越欠損金		
積立金	△ 853,158,723	
当期末処理損失	△ 168,701,789	
(うち当期総損失)	(△ 168,701,789)	
繰越欠損金合計		△ 1,021,860,512
純資産合計		156,581,577
負債純資産合計		2,189,424,065

損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
運営費負担金収益	8,622,000	
補助金等収益	800,000	
寄附金収益	684,741	
営業収益合計		10,106,741
営業費用		
医業費用		
研究研修費	1,104,926	1,104,926
一般管理費		
給与費	151,767,464	
経費	14,511,611	
減価償却費	7,028,579	173,307,654
取得資産に係る控除対象外消費税償却		418,081
控除対象外消費税(消費税損失)	1,407,733	
営業費用合計		176,238,394
営業利益		△ 166,131,653
営業外収益		
その他営業外収益	18,792	
営業外収益合計		18,792
営業外費用		
その他営業外費用	2,708,189	
営業外費用合計		2,708,189
経常利益		△ 168,821,050
臨時利益		
貸倒引当金戻入益	119,261	
臨時利益合計		119,261
臨時損失		
臨時損失合計		0
当期純損失		△ 168,701,789
目的積立金取崩額		0
当期総損失		△ 168,701,789